# KENWOOD

デュアルサイズMD/CD/DSPレシーバー

# DPX-9021MPi
# DPX-8021Mi
# DPX-6021M

# 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

使いこなし!
ファンクショナルオペレーション
## Functional Operation



ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション
## EZ Operation



? Operation
? MP3
? Word

© B64-2003-00 (JW)

# Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

## 本書の読みかた



ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

## EZ Operation



リモコンでも操作できるゾ！

## Remote Control



思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら…
困ったときのお助けページ！

## Help ? Operation ? MP3 ? Word



付録

## Appendices



使いこなし！　ファンクショナルオペレーション

## Functional Operation

オプションも使いこなそう！　オプションズ

# Options

# 本書の読みかた

**この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の4つのブロックに分けて説明しています。**

ここさえ読めばひとまずOK!　イージーオペレーション

## EZ Operation

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。
ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

使いこなし!　ファンクショナルオペレーション

## Functional Operation

EZ Operationを習得したらここへ。
すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

オプションも使いこなそう! オプションズ

## Options

本機に接続できる別売品のすべての機能の使いかたを説明しています。
別売品を接続しているときにお読みください。

## Help

? Operation　思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。

? MP3　DPX-9021MPiでプレイできるMP3ファイルのメディアやそのフォーマットの説明をしています。

? Word　取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。

これらのほかに、リモコンによる操作を説明した［Remote Control］などがあります。

取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。 なお、DPX-9021MPi, DPX-8021MiおよびDPX-6021Mの操作方法が同じところでは、DPX-9021MPiの操作パネルにて表示・説明してあります。

## 本文でのマークについて

**共通の操作**
ソースにかかわらない共通の操作を表しています。

**ディスクの操作**
MDまたはCDをプレイする操作を表しています。
なお、この取扱説明書では、MDとCDをまとめて『ディスク』と呼んでいます。

**チューナーの操作**
FM/AM放送を受信する操作を表しています。

**注意**
ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。

**メモ**
本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。
また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

### 短かく押す

ボタンをチョンと押すことを表します。

### 1 秒以上押す

1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表します。

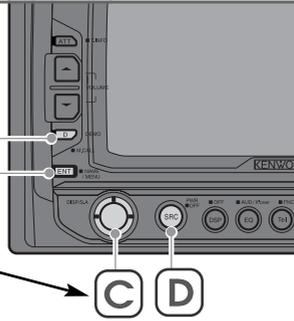
動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表しています。
通常、1秒間押します。また、メモリーに書き込むときには2秒間押します。押す秒数は矢印の中の表示を目安にできます。

### ジョイスティックを動かす

ジョイスティックを矢印の方向へ動かす操作を表します。

左の例では、ジョイスティックを上下に動かす操作を表しています。

Functional Operation

Name Set Mode

この辺ボタンABC…
操作するボタンがどこにあるのか…、位置を表すためのマークです。

## AUXネームセレクト

AUXモードに切り替えたときの表示を設定します。

**1 AUXモードにします**

D SRC

ディスプレイ表示
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。

**2 ネームセットモードに入ります**

B 1秒 ENT

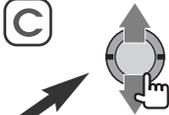
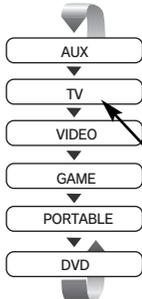
NAME SET
(DPX-9021MPi)

Name Set
(DPX-8021Mi/6021M)

**3 AUXネームを選択します**

C

押すたびに次の順で切り替わります。

AUX ▼ TV ▼ VIDEO ▼ GAME ▼ PORTABLE ▼ DVD

ディスプレイ表示スクロール
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。

表示される文字または内容

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

# 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例

注 意

⚠記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。

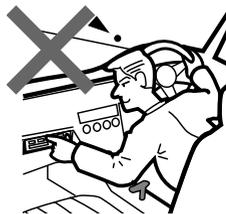
禁 止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

実 施

❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

実 施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクやカセットの挿入・取り出し　など）
- 電話機および本機の発信・着信の操作
- FM多重放送の文字情報の閲読

実 施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

実 施

通話中は車の運転に集中できず前方が不注意となります。
通話は安全な場所に停車してから行ってください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする

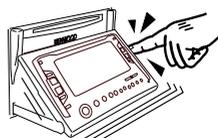
**禁 止**

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

**禁 止**

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

# ⚠注意

**禁 止**

操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてケガをすることがあります。

**禁 止**

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。

**禁 止**

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。

**禁 止**

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

**禁 止**

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

# 使用上のご注意

## 本機に接続する ディスクチェンジャーについて

KDC-C510, KDC-C410, KDC-C406, KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, KMD-C30,またはRJ-480が接続可能です。これらのディスクチェンジャーの"O-Nスイッチ"は"N"側に設定してください。

●

別売品のCD/MDチェンジャースイッチングユニット"KCA-S210A"を使用するとディスクチェンジャーを2台まで接続することができます。接続などの詳しい説明はKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

●

本機のDNPS機能はCDチェンジャーに内蔵の記憶機能を使用するのではなく本機内部の記憶機能を使用します。このため、CDチェンジャーに記載されているDNPS可能枚数とは関係なく、すべてのCDの合計で100枚(DPX-9021MPi/ 8021Mi)/ 50枚(DPX-6021M)まで記憶することができます。

●

上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

●

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

## 携帯電話を本機に接続する前に (DPX-9021MPi/8021Miのみ)

本機に携帯電話を接続する前に、携帯電話の以下の設定をオフにしてください。

- ボタン操作確認音("ピッ"音)
- 携帯電話本体にメッセージを記憶する留守番電話機能
- ドライブモード機能
- マナーモード機能
- 自動着信機能

また、携帯電話を接続したまま本機をバッテリーの電源から外すと、本機の故障の原因となります。バッテリーを交換するときなどは、本機から携帯電話を外してください。

## 携帯電話をCA-HF100/HF200で接続したときは (DPX-9021MPi/8021Miのみ)

本機に別売品の"CA-HF100"または"CA-HF200"を使用して携帯電話を接続すると、ハンズフリー通話や本機から携帯電話のコントロールが可能となります。

CA-HF100/HF200で接続できる携帯電話の機種はカタログをご覧ください(接続・使用可能な携帯電話の中にも、機種により一部不適切な表示や動作をする場合があります)。なお、改造などを施した携帯電話では使用できないことがあります。

●

「ファンクションセット」(51/53ページ)の"TELコネクタ"項目を"BUS"に設定してから使用してください。"Miniplug"の設定のままでは正しく動作しません。

●

本機への携帯電話接続手順

1. 本機の電源をオンにする。
2. 携帯電話の電源をオフにする。
3. 携帯電話の外部接続端子をCA-HF100/HF200に接続する。

本機は上記以外の手順で携帯電話を接続しても、接続されていると認識できません。正しく接続されると本機の📱インジケーターが点灯または点滅します。

●

携帯電話を接続すると、携帯電話の電源は自動的にオンになります。本機の電源がオンのときは、接続している携帯電話をオフにすることはできません。また、本機と接続されている携帯電話とは常に通信状態にあるため、携帯電話の電池の消費が通常より多くなります。

なお、CA-HF100/HF200は携帯電話に電源を供給しておりません。

●

携帯電話のインターネット機能やメール機能を使用するときは、携帯電話をCA-HF100/HF200から取り外してください。CA-HF100/HF200に携帯電話を接続したままでは、これらの機能が正常に動作しない場合があります。

●

携帯電話のメモリーダイヤルを本機に読み込んでいないと、ハンズフリー機能を使用して電話をかけることはできません。この状態のとき、インジケーターが点滅します。メモリーダイヤルを本機に読み込むとインジケーターは点灯に変わります。（メモリーダイヤルの読み込み方法は64ページを参照してください）
なお、読み込んだメモリーダイヤルは、携帯電話をはずしても本機に記憶されています。

●

携帯電話のメモリーダイヤルを本機に読み込むときは、携帯電話の電源が途中で切れないようにフル充電をして、本機の電源も読み込み中に切らないようにしてください。読み込み中に電源が切れると本機のダイヤルメモリー内容はすべて消去されます。

●

携帯電話のメモリーダイヤルを読み込み中は本機の操作はしないでください。携帯電話も着信以外の操作はしないでください。
また、読み込み中に着信したときは通話が終了後に読み込み動作が自動的に再開されます。この場合、指定した番号からすべて読み込み直します。

●

携帯電話より読み込んだ電話番号は、リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外すと消去されます。このようなときは携帯電話よりメモリーダイヤルを再度読み込んでください。

●

本機のハンズフリー通話機能では、割り込み通話や三者通話を利用できません。このような通話をするときは、携帯電話をCA-HF100/HF200から取り外してから、携帯電話で操作してください。

●

接続している携帯電話によっては、本機から電話をかけた場合に、携帯電話の発信履歴に電話番号が記憶されない場合があります。

## 携帯電話をCA-HF300で接続したときは
### (DPX-9021MPi/8021Miのみ)

携帯電話の受話音量は、最大に設定してください。

●

「ファンクションセット」（51/53ページ）の“TEL コネクタ”項目を“Miniplug”に設定してから使用してください。“BUS”の設定のままでは正しく動作しません。

●

CA-HF300を使用して接続した場合、本機のディスプレイでは携帯電話の通信状態（通話中・切断中など）が分かりません。通信状態を把握するため、携帯電話は運転席から見える場所に設置してください。

●

ハンズフリー通話中は、携帯電話の充電器は使用しないでください。雑音が出たり、誤動作を起こすことがあります。

●

通話中に携帯電話をCA-HF300から外したり接続したりしないでください。雑音が出ることがあります。

●

通話中にイグニッションキーを“START”位置にすると、通話が切れることがあります。

## ハンズフリー通話機能について
### (DPX-9021MPi/8021Miのみ)

携帯電話の電波受信レベルが低いときや、車の走行ノイズが大きいときは、通話している双方ともに相手の音声が聞き取りづらくなる場合があります。

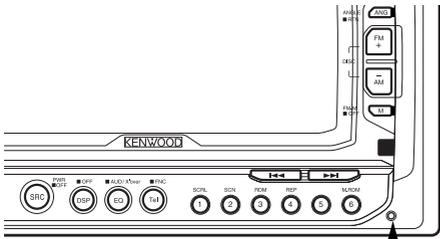
●

受話音声はフロントスピーカーおよびフロントプリアウトの、右チャンネルまたは左チャンネルより出力されます。

# 使用上のご注意

## セットの異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help? Operation」(72ページ)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。

●

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- MDやCDが取り出せない。
- MDやCDを正しく入れ直してもインジケーターの点滅が続く。
- ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならない。

●

操作パネルがスライドした状態のときに異常が起こり閉じられない場合は、操作パネルの上部を引き上げながら下部を押すことにより手動で閉めることができます。

## オートアンテナ仕様車に取り付けた場合

車両のラジオアンテナが自動で伸びるオートアンテナ仕様車に取り付けた場合、本機の交通情報機能、FM多重機能、チューナーをオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。
天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにしてください。

## セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。
スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

## レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

## 温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。
本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてMDやCDの演奏ができなくなります。
このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

## 結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではMDやCDの読み取りができなくなります。
このようなときは、MDやCDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。
もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

## 使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。

●

記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

●

COMPACT disc DIGITAL AUDIO / COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable / COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable マークの付いていないCDは使用しないでください。

●

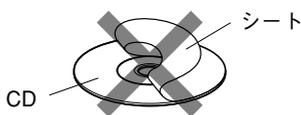
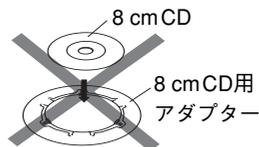
ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）
このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

●

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

## CD用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。

●

8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。
また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売品の8cmCD用マガジンをご使用ください。

## データ用のMDについて

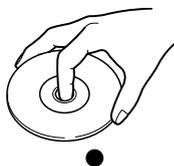
データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

## ラベルのはがれかかったMDは

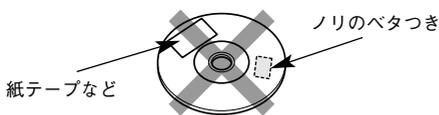
ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せなくなるなど故障の原因となります。

# CDとMDの取り扱い

## CDのお取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは記録面に触れないようにしてください。（レーベルが印刷されていない面が記録面です。）

CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

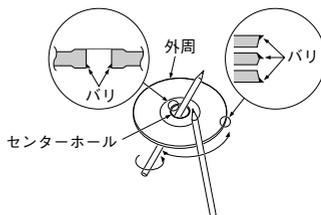
●

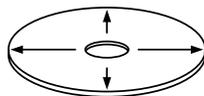
記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけるとCD が取り出せなくなったり、故障することがあります。

## CDの保存

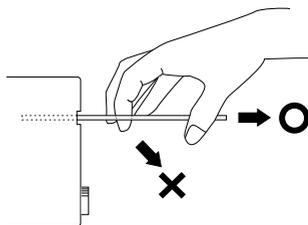
直射日光があたる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高い場所には置かないでください。特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。
キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

## 新しいCDを使うときは

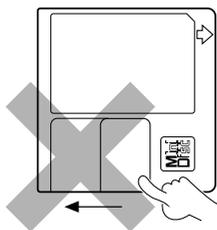
新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

## CDのお手入れ

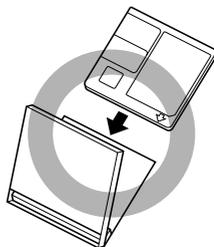
CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。

## CDの取り出しかた

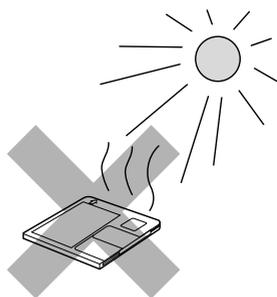
本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。
下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷を付ける原因となります。

## MDのお手入れ

カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布でふき取ってから使用してください。特に油汚れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。
また、お手入れされるときは、MDのシャッターを開かないようご注意ください。

## MDのシャッターについて

MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。
シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指で触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。

## 保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。

## 高温に注意

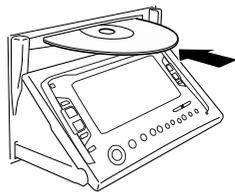
MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。

## ディスクのプレイは簡単！　ディスクを差し込むだけです。

### CDをプレイするときは…

(CD EJECT)を押して操作パネルをスライドさせ、プレイするCDを差し込みます。
CDが引き込まれ、パネルが閉まります。

DPX-9021MPiでは、MP3ファイルが収録されたCDも同様の操作でプレイすることができます。くわしくは「MP3 Mode」(20ページ)をご覧ください。

### CDを取り出すときは…

を押します。
操作パネルがスライドして、CDがイジェクトされます。
もう一度 を押すとパネルは閉じます。

**音量を素早く下げます。**
もう一度押すと、元の音量に戻ります。

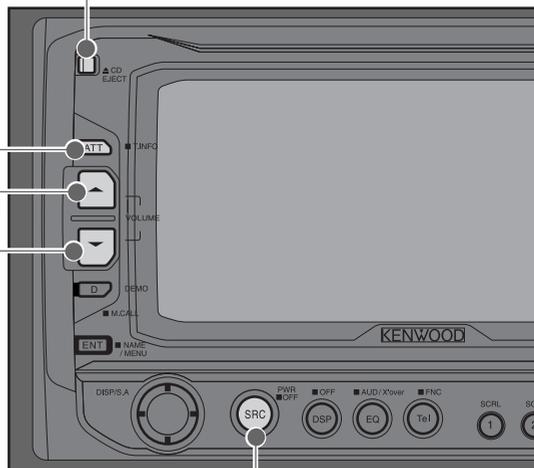
**1秒以上押すと、交通情報を受信します。**
もう一度、1秒以上押すと元に戻ります。

**音量を上げます。**

**音量を下げます。**

注 意

- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- 操作パネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。

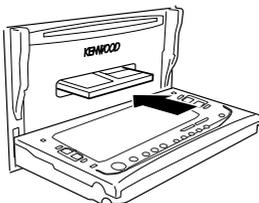
- CDがイジェクトされないときは、CDが出るまで (CD EJECT)を押し続けてください。
- MDのイジェクト状態（操作パネルをスライドさせた状態）で可能な操作は、ディスクの挿入、イジェクト、音量調整、ソース選択、ハンズフリー受信などだけです。
- スライドさせたパネルに無理な力を加えないでください。
- 全ての操作は、電源をオンにした状態で行ってください。

**電源をオン/オフします。**
押すと電源がオンになります。1秒以上押すと、電源がオフになります。

**MD/CDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。**
ディスクが入っているときに押すと、FM/AM放送、MD、CD、ALL OFFが切り替わります。
MDが入っているときは 、 または インジケーターが点灯し、CDが入っているときは 、 または インジケーターが点灯します。

**MDをプレイするときは…**

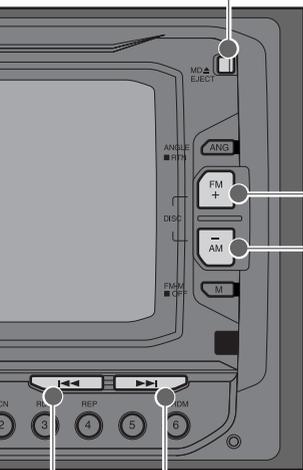
(MD EJECT)を押して操作パネルをスライドさせ、プレイするMDを差し込みます。MDが引き込まれ、パネルが閉まります。

MDLPで録音されたMDも差し込めばプレイできます。

プレイ中のMDがLP2モードのときは "MDLP 2" インジケーター、LP4モードのときは "MDLP 4" インジケーターが点灯します。

**MDを取り出すときは…**

を押します。

操作パネルがスライドして、MDがイジェクトされます。

もう一度 を押すとパネルは閉じます。

**FM放送のバンド（FM1/FM2）を切り替えます。**

**MP3ファイルプレイ中に、次のフォルダを選びます。(DPX-9021MPi)**

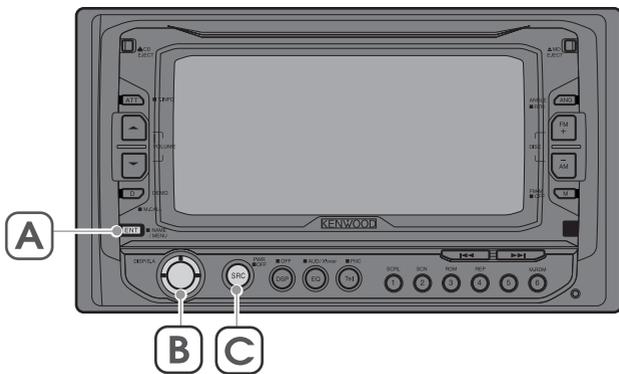
**AM放送のバンド（AM1/AM2）を切り替えます。**

**MP3ファイルプレイ中に、前のフォルダを選びます。(DPX-9021MPi)**

**プレイする曲を選びます。**

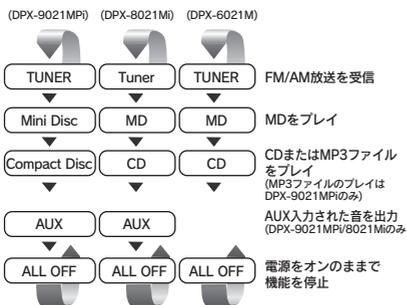
**交通情報の周波数 (1620kHz/ 1629kHz/ 522kHz) を選びます。**

**受信する放送局を選びます。**

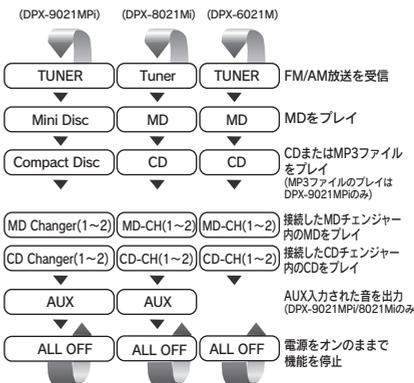
受信状態の良い放送局を自動的に受信します。
チューニングモードの設定により、周波数を1ステップずつ変えたり、メモリーしている放送局を順に受信するようにもできます。（51/53/54ページ）

## ソース選択

プレイするソースを切り替えます。

押すたびに次の順で切り替わります。

| (DPX-9021MPi) | (DPX-8021Mi) | (DPX-6021M) | |
|---|---|---|---|
| TUNER | Tuner | TUNER | FM/AM放送を受信 |
| Mini Disc | MD | MD | MDをプレイ |
| Compact Disc | CD | CD | CDまたはMP3ファイルをプレイ (MP3ファイルのプレイはDPX-9021MPiのみ) |
| AUX | AUX | | AUX入力された音を出力 (DPX-9021MPi/8021Miのみ |
| ALL OFF | ALL OFF | ALL OFF | 電源をオンのままで機能を停止 |

AUXソースには「ファンクションセット」(51/53ページ)の“AUX IN”/“AUX”項目が“On”に設定されているときに切り替わります。

**別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります。**

| (DPX-9021MPi) | (DPX-8021Mi) | (DPX-6021M) | |
|---|---|---|---|
| TUNER | Tuner | TUNER | FM/AM放送を受信 |
| Mini Disc | MD | MD | MDをプレイ |
| Compact Disc | CD | CD | CDまたはMP3ファイルをプレイ (MP3ファイルのプレイはDPX-9021MPiのみ) |
| MD Changer(1~2) | MD-CH(1~2) | MD-CH(1~2) | 接続したMDチェンジャー内のMDをプレイ |
| CD Changer(1~2) | CD-CH(1~2) | CD-CH(1~2) | 接続したCDチェンジャー内のCDをプレイ |
| AUX | AUX | | AUX入力された音を出力 (DPX-9021MPi/8021Miのみ |
| ALL OFF | ALL OFF | ALL OFF | 電源をオンのままで機能を停止 |

別売品のKCA-S210AまたはCA-C1AXに入力したAUXソースは、次のように選択できます。
KCA-S210Aに入力したAUXソースを選ぶ場合：“AUX1”/“AUX”表示を選ぶ。
CA-C1AXに入力したAUXソースを選ぶ場合：“Disc Changer”/“DISC-CH”表示を選ぶ。
(確定後に“AUX Mode”表示になります)

プレイするソースを選びます。
また、時計表示の時刻合わせをします。



## 時計表示切り替え

時計表示をオン/オフします。

下に動かすたびに、時計表示がオン/オフされます。

## 時刻合わせ

時計表示の時刻を合わせます。

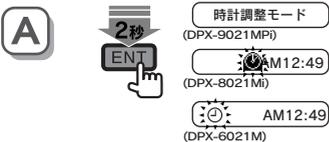
**1 ALL OFFモードにします**

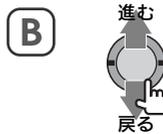
ALL OFF

**2 時刻合わせを開始します**

時計調整モード
(DPX-9021MPi)

AM12:49
(DPX-8021Mi)

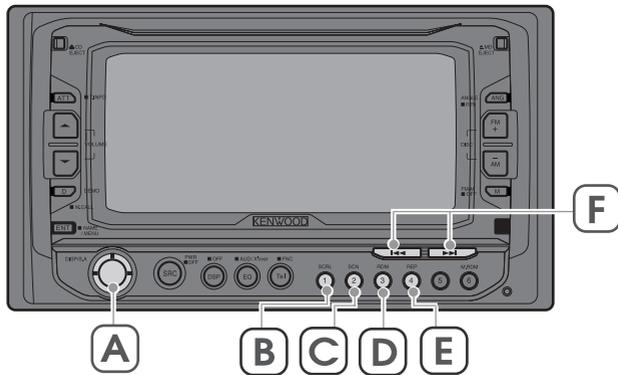
AM12:49
(DPX-6021M)

“時計調整モード” 表示 (DPX-9021MPi)、点滅表示 (DPX-8021Mi)、または点滅表示 (DPX-6021M)するまで押し続けます。

**3 “時” を合わせます**

**4 “分” を合わせます**

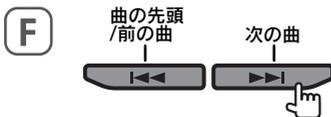
**5 時刻合わせを終了します**

分を調整したときは、00秒からカウントがスタートします。

DPX-9021MPi/ 8021Miでは、FM多重システムをオンにしているときは、時刻合わせをすることができません。「FM多重システム」(30ページ)をオフにしてから時刻合わせを行ってください。

# MD/CD Mode



## トラックサーチ

順に曲を選びます。

## マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り／早戻しします。

ボタンを押している間だけ、早送り／早戻しされます。

## トラックリピートプレイ

現在聴いている曲を繰り返しプレイします。

押すたびに、トラックリピートプレイがオン／オフされます。トラックリピートプレイがオンのときは、REPインジケーターが点灯します。

## ランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。

押すたびに、ランダムプレイがオン／オフされます。ランダムプレイ中はRDMインジケーターが点灯します。

 を押すと次の曲をランダムに選択します。

MDやCDをいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なMDとCDの聴きかたはEZ Operation（14ページ）をご覧ください。



## トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

**1 トラックスキャンプレイを開始します**

Track Scan

トラックスキャンプレイ中はSCNインジケーターが点灯します。

**2 聴きたい曲のところで…**

その曲からプレイされます。

すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンプレイは、自動的に終了します。

## タイトル/テキストスクロール

“オートスクロール”/“Title/Text SCRL”/“AT.SCRL”設定が“Off”のときにタイトル/テキスト表示をスクロールさせます。

**1 タイトル/テキスト表示にします**

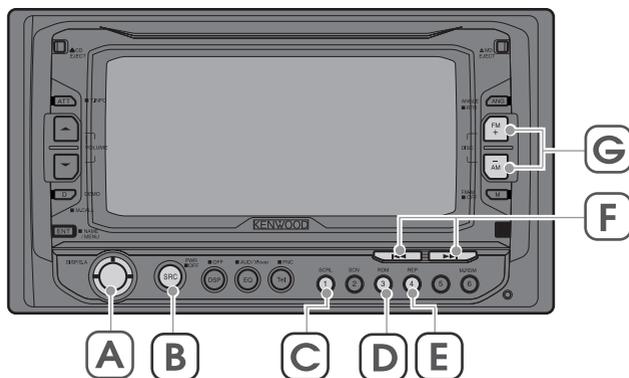
Track Title

「ディスプレイ情報表示切り替え」（34/36ページ）を参照して、ディスク/トラックタイトルまたはディスク/トラックテキストを表示します。

**2 スクロール表示します**

タイトルまたはテキスト表示が１回スクロールします。

“オートスクロール”/“Title/Text SCRL”/“AT.SCRL”設定が“On”になっているときに上記の操作を行うと、ディスク/トラックタイトルまたはディスク/トラックテキストが最初の文字からスクロールを開始します。（“オートスクロール”/“Title/Text SCRL”/“AT.SCRL”設定の方法は、50/52/54ページの「ファンクションセット」を参照してください）

# MP3 Mode （DPX-9021MPiのみ）



## MP3ファイルプレイ

MP3ファイルを聴きます。

MP3ファイルをプレイするには、DPX-9021MPiにMP3ファイルの収録されているメディアを挿入します。
挿入されているときは、ソース選択でCDモードを選択します。

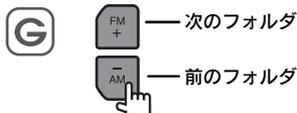
- 本機でプレイできるメディアはCD-ROM, CD-R, CD-RWです。また、フォーマットがISO9660 level1/ level 2, JolietまたはRomeoのメディアを使用してください。MP3ファイルの書き込み方法や注意などが「Help? MP3」（81ページ）に記載してあります。メディアを作成する前にご覧ください。
- プレイを開始するまで、MP3ファイルが収録されているメディアかを確認するため、音楽CDをプレイするときより時間がかかります。

## ファイルサーチ

順に曲を選びます。

ファイルサーチにはフォルダ階層の状態により時間がかかることがあります。

## フォルダサーチ

順にフォルダを選びます。

押すたびに、次のフォルダ／前のフォルダへとフォルダサーチします。
選択したフォルダ内にファイルがない場合は、自動的にプレイ順で一番近いファイルをプレイします。

ファイル数およびフォルダ階層の状態によりフォルダサーチに時間がかかることがあります。

## マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り／早戻しします。

ボタンを押している間だけ、早送り／早戻しされます。

- マニュアルサーチ中は、演奏時間は表示されず、また、音声も出力されません。
- 早戻しができるのは、再生中のファイルの先頭までです。

MP3ファイルを収録したメディアも、DPX-9021MPiでプレイできます。

基本的なMP3ファイルの聴きかたはEZ Operation（14ページ）をご覧ください。

## ファイル/フォルダリピートプレイ

**現在聴いている曲を繰り返しプレイします。**

押すたびに、次のようにリピートプレイがオン/オフします。

リピートプレイがオンのときは、REPインジケーターが点灯します。

## ランダムプレイ

**現在聴いているフォルダ内の曲をランダムな順でプレイします。**

Random

押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。ランダムプレイ中はRDMインジケーターが点灯します。

を押すと次の曲をランダムに選択します。

## ネームスクロール

**“オートスクロール”設定が“Off”のときにフォルダ/ファイルネームやID3 tag表示をスクロールさせます。**

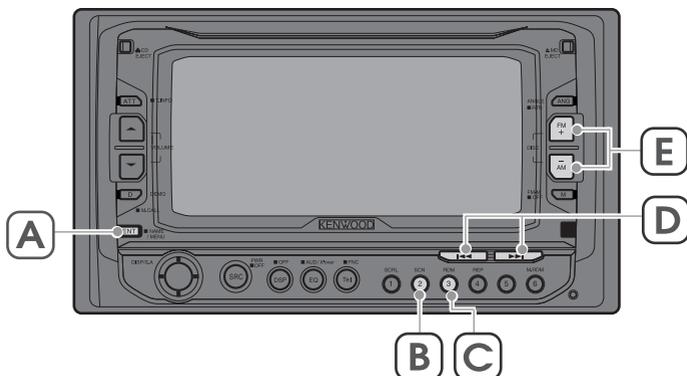
### 1 フォルダ/ファイルネーム、ID3 tag表示にします

Folder Name

「ディスプレイ情報表示切り替え」（34ページ）を参照して、フォルダネーム、ファイルネーム、ID3タイトル＆アーティスト、またはID3アルバムを表示します。

### 2 スクロール表示します

表示中のフォルダネーム、ファイルネーム、ID3タイトル＆アーティスト、またはID3アルバムが1回スクロール表示します。

“オートスクロール”設定が“On”になっているときに上記の操作を行うと、フォルダ/ファイルネーム、ID3 tag表示が最初の文字からスクロールを開始します。（“オートスクロール”設定の方法は、50ページの「ファンクションセット」を参照してください）

## フォルダセレクト

**聴きたい曲の入っているフォルダをすばやく選択します。**

### 1 フォルダ選択モードにします

フォルダ選択モード

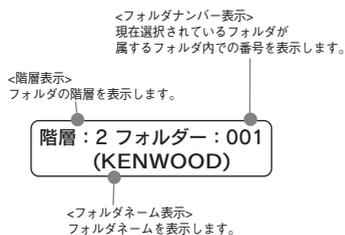
MP3ファイルプレイが中止され、フォルダ選択モードになります。

ディスプレイに以下の表示がされます。

<フォルダナンバー表示>
現在選択されているフォルダが属するフォルダ内での番号を表示します。

<階層表示>
フォルダの階層を表示します。

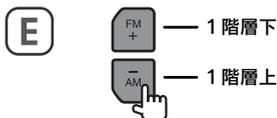
階層：2 フォルダー：001
(KENWOOD)

<フォルダネーム表示>
フォルダネームを表示します。

フォルダが１つも記録されていないメディアでは、フォルダ選択モードに入ることはできません。

### 2 フォルダを選びます

**同階層内にあるフォルダ間を移動します**

押すたびに、同階層内で次のフォルダ／前のフォルダへと移動します。

**フォルダの階層を選択します**

押すたびに、1 階層上/ 1 階層下へと移動します。

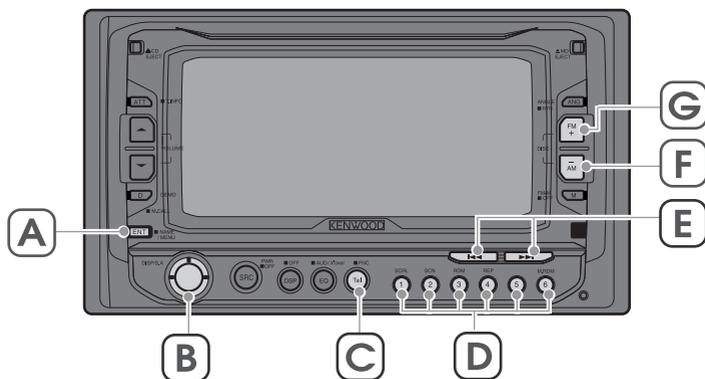
**第 1 階層へ戻ります（Root Jump）**

現在聴いているメディアの最上階層のフォルダに戻ります。

フォルダセレクト時のフォルダの移動のしかたは、フォルダサーチとは異なります。くわしくは「Help? MP3」(81 ページ)を参照してください。

## 3 聴きたい曲が入っているフォルダで…

フォルダ選択モードが終了し、そのフォルダ内の最初のMP3ファイルがプレイされます。

フォルダ選択モードを終了して、選択したフォルダにMP3ファイルがないときは、プレイ順で一番近いファイルがプレイされます。

## バンド切り替え

**FM1とFM2に切り替えます。**

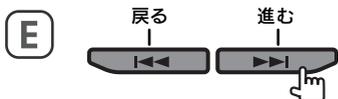
**AM1とAM2に切り替えます。**

## チューニング

**受信する放送局を選びます。**

**1 バンドを選びます**

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

**2 放送局を選びます**

**チューニングモードが "AUTO1" のとき (AT1/AUTO 1インジケーターが点灯しています)**
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

**チューニングモードが "AUTO2" のとき (AT2/AUTO 2インジケーターが点灯しています)**
メモリーされている放送局を番号順に受信します。(メモリーの方法は右ページをご覧ください)

**チューニングモードが "Manual" のとき**
押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

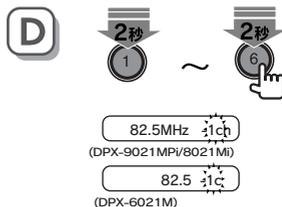
- チューニングモードは「ファンクションセット」(51/53/54ページ) "SEEK MODE" / "SEEK" / "Seek" 項目で選択できます。
- FMステレオ放送を受信するとSTインジケーターが点灯します。

## マニュアルメモリー

**受信中の放送局をメモリーします。**

**1 メモリーする放送局を選びます**

前記の「バンド切り替え」および「チューニング」を参照して放送局を選びます。

**2 メモリーボタン (1～6のいずれか)を選びます**

ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

FM/AM放送を受信します。
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

基本的なFM/AM放送の聴きかたはEZ Operation（14ページ）をご覧ください。

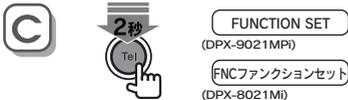


## オートメモリー

**受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。**

**1 バンドを選びます**

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

**2 ファンクションセットモードにします**

**DPX-9021MPi/8021Miの場合**

FUNCTION SET
(DPX-9021MPi)

FNCファンクションセット
(DPX-8021Mi)

“FUNCTION SET” / “FNCファンクションセット”と表示されるまで押し続けます。

**DPX-6021Mの場合**

Function Set

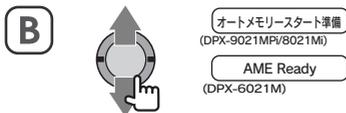
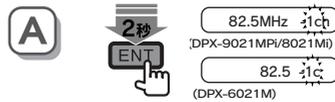
**3 オートメモリー項目を選択します**

オートメモリースタート準備
(DPX-9021MPi/8021Mi)

AME Ready
(DPX-6021M)

**4 オートメモリーを開始します**

82.5MHz -1ch
(DPX-9021MPi/8021Mi)

82.5 -1c
(DPX-6021M)

周波数表示になるまで押し続けます。
6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

## プリセットチューニング

**メモリーボタン（1～6）にメモリーされている放送局を受信します。**

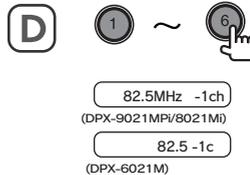
**1 バンドを選びます**

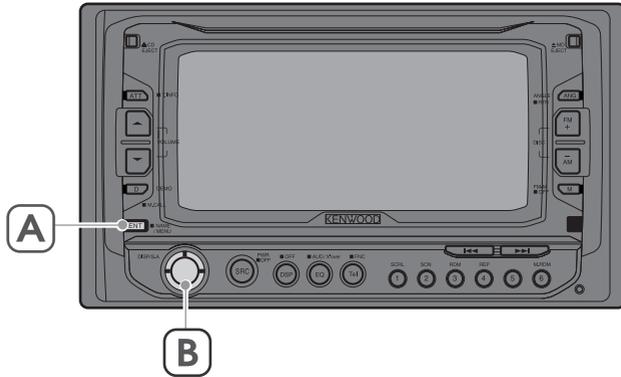
前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

**2 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます**

～

82.5MHz -1ch
(DPX-9021MPi/8021Mi)

82.5 -1c
(DPX-6021M)

選んだメモリーナンバーが表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

# Name Set Mode



## DNPS（ディスクネームプリセット）/ SNPS（ステーションネームプリセット）

CDとFM/AM放送局に名前を付けます。

### 1 名前を付けるCD/放送局を選びます

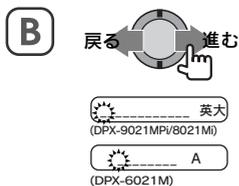
- MDにDNPSを行うことはできません。
- MP3が収録されているCDにDNPSを行うことはできません。(DPX-9021MPi)
- 交通情報モード中に受信している放送局にも同様の操作で名前を付けることができます。

### 2 ネームセットモードにします

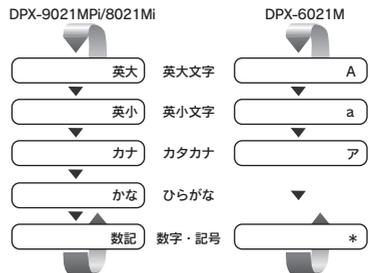
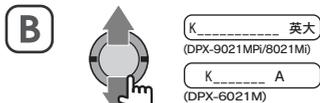
NAME SET (DPX-9021MPi)

Name Set (DPX-8021Mi/6021M)

“NAME SET” / “Name Set” と表示されるまで押し続けます。

### 3 文字を入力する位置にカーソルを移動します

### 4 文字の種類を選びます

漢字の入力方法は28ページをご覧ください。(DPX-9021MPi/8021Miのみ)

押すたびに次の順で切り替わります。

### 5 文字を選びます

### 6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します

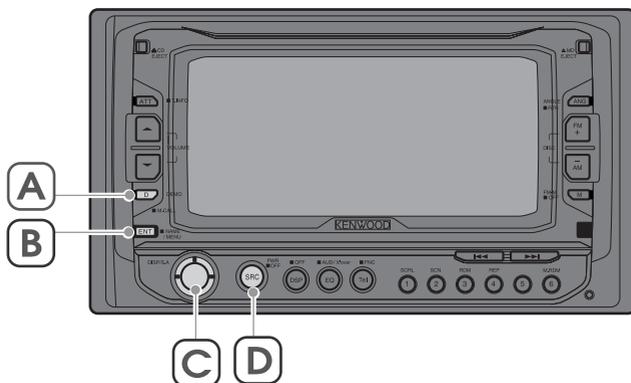
FM/AM放送局や本機内蔵CDプレーヤーと別売品のCDチェンジャーにセットされているCDに名前を付けて表示させることができます。
また、AUXモードのときに表示される名前を設定できます。





## 7 ネームセットモードを終了します

- 10秒間以上何も操作しないと、その時点で名前が確定されます。
- DNPSは本機内蔵のCDプレーヤーと別売品のCDチェンジャーを合わせて100枚(DPX-9021MPi/8021Mi)/ 50枚(DPX-6021M)まで登録できます。
- SNPSはFM放送局とAM放送局を合わせて30局まで登録できます。
- 名前はDPX-9021MPi/8021Miで12文字まで、DPX-6021Mで８文字まで登録できます。
- CDはトラック数（曲数）と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- バッテリーから本機を外すとDNPS/SNPSは消去されます。
- 登録した名前を変更するには、変更したいCDや放送局の名前を表示させたあと、手順２～６の操作により変更できます。

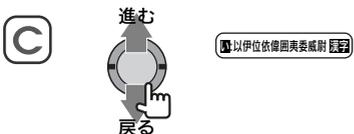
# Name Set Mode

## 漢字の入力 (DPX-9021MPi/8021Miのみ)

ディスクネーム/ステーションネームに漢字を入力して表示させることができます。

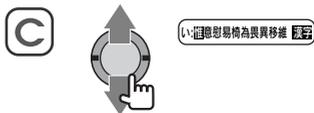
### 1 DNPS/SNPSを開始します

26ページの手順1〜3を行います。

### 2 漢字入力モードにします

### 3 漢字の読みを選択します

### 4 入力する漢字を選ぶ

カーソルが読みの位置から漢字の位置に移動します。

**漢字列を変えるには....**

カーソルが漢字の位置にあるときに動かすと、漢字列が変わります。

### 5 漢字を入力する

カーソルがある位置の漢字が入力され、漢字入力モードが終了します。
さらに漢字を入力する場合は、手順2〜5を繰り返します。

### 漢字入力を中止するときは…

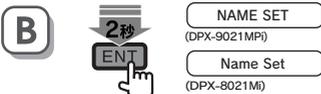
## AUXネームセレクト
**（DPX-9021MPi/8021Miのみ）**

AUXモードに切り替えたときの表示を設定します。

### 1 AUXモードにします

- 「AUXネームセレクト」は本機に内蔵のAUX入力に設定できる機能です。別売品のKCA-S210AまたはCA-C1AXを使用したAUX入力には設定できません。
- AUXソースには「ファンクションセット」(51/53ページ）の“AUX IN”/“AUX”項目が“On”に設定されているときに切り替わります。

### 2 ネームセットモードにします

NAME SET
(DPX-9021MPi)

Name Set
(DPX-8021Mi)

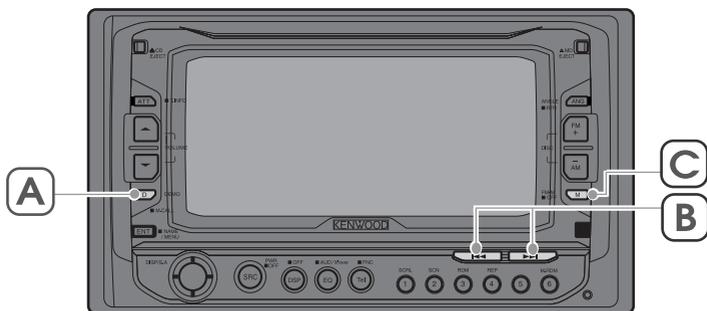
“NAME SET”/“Name Set”と表示されるまで押し続けます。

### 3 AUXネームを選択します

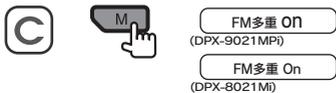
押すたびに次の順で切り替わります。

### 4 ネームセットモードを終了します

- 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が選択されます。
- バッテリーから本機を外すと、AUXネームは“AUX”に戻ります。

# FM Multi Control （DPX-9021MPi/8021Miのみ）

## FM多重システム

FM文字多重放送受信機能を使います。

### FM多重システムをオンにします

FM多重情報の受信・蓄積を開始します。
FM多重システムの設定や調整はFM多重システムがオンの状態で行います。

- FM多重システムがオンのときは、オートアンテナ仕様車の場合、アンテナが伸びた状態になります。車庫入れなどで縮めたいとき、FM多重システムをオフにしてください。
- FM多重放送を受信中に、緊急情報番組の放送が始まった場合は、自動的に番組を切り替えて緊急情報番組の情報を受信・表示します。

### FM多重システムをオフにします

“FM多重 OFF” / “FM多重 Off” と表示されるまで押し続けます。

## FM多重表示モード切り替え

**(DPX-9021MPiのみ)**

FM文字多重情報受信時の表示方法を切り替えます。

FM多重システムがオンのときに押すたびに、次の順で切り替わります。

- FM多重１行表示モード、またはFM多重継続受信モード選択時はFM MULTIインジケーターが消え、⁝⁝⁝⁝⁝⁝⁝インジケーターのみが点灯します。
  FM多重１行表示モード、またはFM多重継続受信モードをオンにするとオーディオ（CD、MD、チューナーなど）の操作が可能になりますが、FM文字多重放送のデータの受信・蓄積は継続されます。
- FM多重１行表示モード中はディスプレイにオーディオソースの表示と、FM多重情報が同時に表示されます。

FM文字多重放送を受信して番組情報や交通情報などを表示することができます。

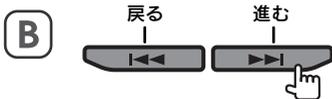
## FM多重継続受信 （DPX-8021Miのみ）

**FM文字多重情報の受信を続けたままオーディオソースのコントロールをします。**

FM多重システムがオンのときに押すたびに、FM多重継続受信機能がオン/オフします。

FM多重継続受信をオン時はFM MULTIインジケーターが消え、　インジケーターのみが点灯します。FM多重継続受信をオンにするとオーディオ（CD、MD、チューナーなど）の操作が可能になりますが、FM文字多重放送のデータの受信・蓄積は継続されます。

## チューニング

**受信する放送局を選びます。**

**チューニングモードが“AUTO1”のとき（AT1/AUTO 1インジケーターが点灯しています）**

受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

**チューニングモードが“AUTO2”のとき（AT2/AUTO 2インジケーターが点灯しています）**

メモリーされている放送局を番号順に受信します。（メモリーの方法は24ページをご覧ください。）

**チューニングモードが“Manual”のとき**

押すたびに、周波数が１ステップずつ変わります。

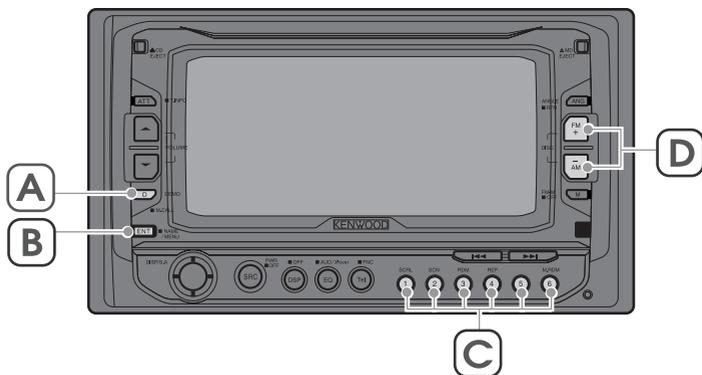
チューニングモードは「ファンクションセット」の“SEEK MODE”/“SEEK”項目（51/53ページ）で変更できます。

## FM文字情報オートスクロール （DPX-8021Miのみ）

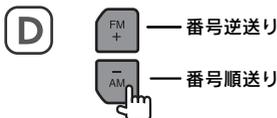
**FM文字番組の表示を自動的に切り替えて表示します。**

押すたびにFM文字情報オートスクロールがオン/オフします。
オンになるとFM MULTIインジケーターが点灯から点滅に変わります。

番組連動チャンネルを受信している場合は、FM文字情報オートスクロールがオフでも自動的にスクロールをします。

# FM Multi Control （DPX-9021MPi/8021Miのみ）

## FM文字多重番組の選択

見たい文字情報番組を探します。

### 1 番組を表示させせます

押すたびに、番組が目次の番号順に表示されます。

- DPX-8021Miでは、「FM文字情報オートスクロール」（31ページ）がオンのときは、番組が目次の番号順に次々と表示されます。
- DPX-9021MPiでは、「FM文字多重番組の選択」は「FM多重表示モード切り替え」でFM多重２行表示モードを選択している時のみ可能です。

### 2 番組を選びます

手順１で表示された番組の中で、見たい番組の番号を押します。
さらに番組選択が続く場合は、見たい番組の情報が表示されるまで、手順１～２の操作を繰り返します。

車両のパーキングブレーキをしていないとき（走行中）には、表示されない番組（ニュース番組や一般情報番組など）があります。このような番組を選ぶと“本番組は走行中表示できません”と表示されます。

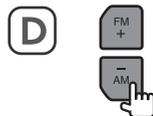
### 3 番組の選択を取り消します

#### １つ前の選択メニューに戻すときは

“本番組は走行中表示できません”と表示されているときに押すとメインメニューに戻ります。

#### メインメニューに戻すときは

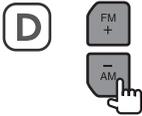
１秒以上押すと一番最初のメニューに戻ります。

### 4 情報ページを切り替えます

押すたびに、文字情報のページが切り替わります。

DPX-8021Miでは、「FM文字情報オートスクロール」（31ページ）がオンのときは、文字情報のページが次々と表示されます。

# 情報ページメモリー

表示している情報をページ単位でメモリーします。

**1 情報ページを選びます**

**2 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選択します**

M ①にメモリしました

"M ○にメモリしました" と表示されるまで押し続けます。

- 1個のボタンにメモリーされる情報は1ページ分です。1ページは1/4角文字1行と全角文字2行の合計3行で構成されています。
- 電源ハーネスを外したり、リセットボタンを押すとメモリーされている情報ページは消去されます。

# メモリーページの呼び出し

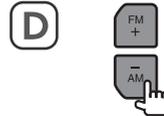
メモリーしている情報ページを呼び出します。

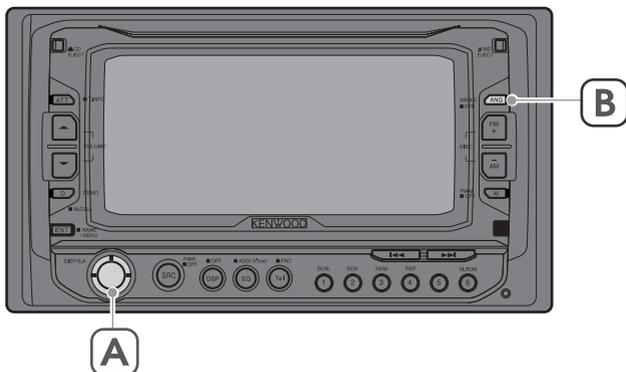
**1 メモリーページ呼び出しモードにします**

メモリ呼出しモード ①～⑥

"メモリ呼出しモード○" と表示されるまで押し続けます。

**2 呼び出すメモリーボタン（1～6）を選択します**

**3 表示行を切り替えます**

**4 メモリーページ呼び出しモードを終了します**

または、なにも操作しないでおきます。

## 操作パネル角度調節

操作パネルを見やすい角度に調整します。

**パネルをスライドします。**

押すたびに、操作パネルが1ステップずつ10段階にスライドします。

**パネルを元の位置に戻します。**

パネルが動き始めるまで押し続けます。

パネルスライド中は、FM/AM放送の音は出力されません。

## ディスプレイ情報表示切り替え

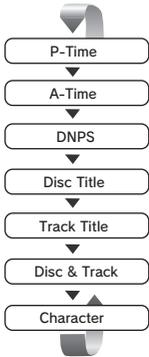
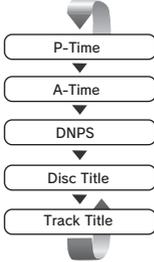
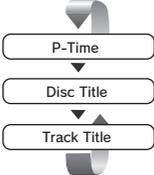
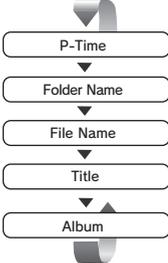
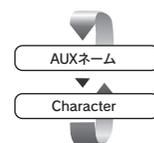
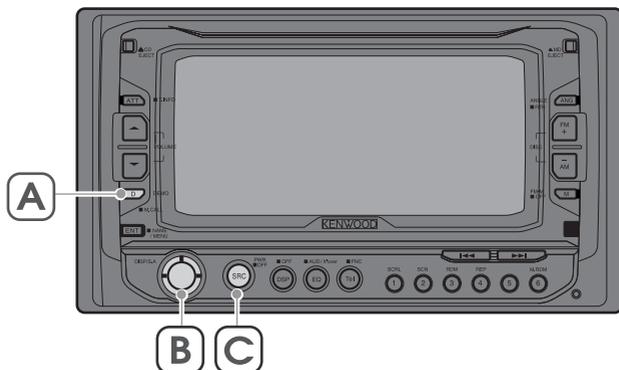
**(DPX-9021MPi)**

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

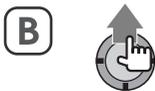
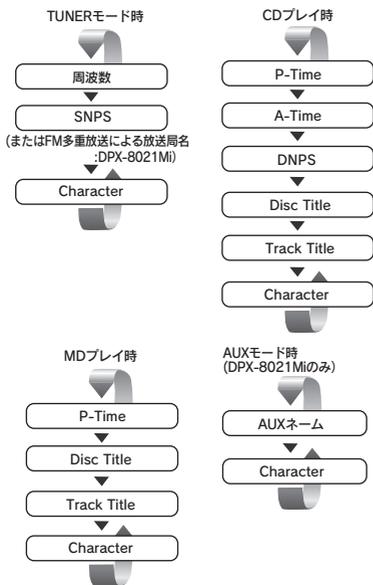
上へ動かすたびに次の順で切り替わります。

TUNERモード時

TUNERモード時
(FM多重1行表示モード中)

# 操作パネルの角度の調節やディスプレイの表示の設定をします。

AUXモード時

- P-Time：聴いている曲の演奏時間
  A-Time：聴いているCD全体でのトータル演奏時間
  DNPS：ディスクネームプリセット（26ページ）
  SNPS：ステーションネームプリセット（26ページ）
  なお、CDプレイ時のDisc Titleはディスクテキスト、Track Titleはトラックテキストが表示されます。
- 「FM多重表示モード切り替え」でＦＭ多重２行表示モードが選択されているときはディスプレイ情報表示切り替えができません。
- ＦＭ多重1行表示モード中は上記の表示とともにFM多重情報が表示されます。

## ディスプレイ情報表示切り替え

**(DPX-8021Mi/6021M)**

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

上へ動かすたびに次の順で切り替わります。

- P-Time：聴いている曲の演奏時間
  A-Time：聴いているCD全体でのトータル演奏時間
  DNPS：ディスクネームプリセット（26ページ）
  SNPS：ステーションネームプリセット（26ページ）
  なお、CDプレイ時のDisc Titleはディスクテキスト、Track Titleはトラックテキストが表示されます。
- FM多重受信中に「ディスプレイ情報表示切り替え」を行うときは、「FM多重継続受信」をオンにしてください。（31ページ）(DPX-8021Mi)

## ALL OFFモード中表示切り替え

ALL OFFモード中のディスプレイ表示を選びます。

### 1 ALL OFFモードにします

ALL OFF

### 2 表示を選びます

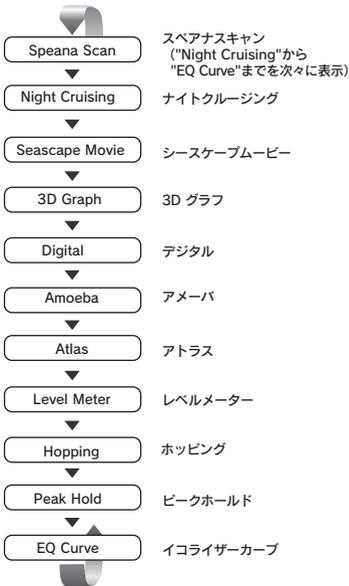
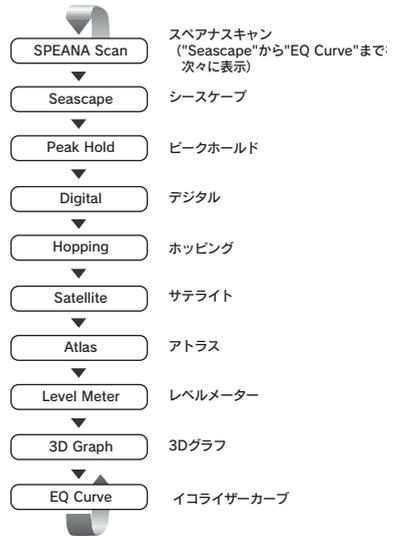
上へ動かすたびに次の順で切り替わります。

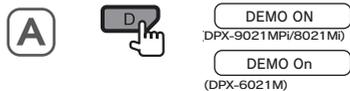
DPX-9021MPiでは、ＦＭ多重１行表示モード中は上記の表示とともにFM多重情報が表示されます。

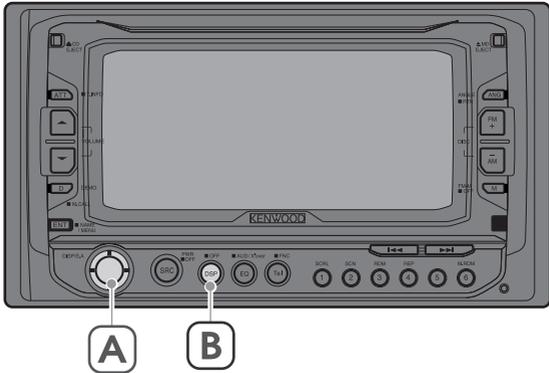
## アナライザーの切り替え

スペクトラムアナライザー表示を切り替えます。

動かすたびに次の順で切り替わります。

### DPX-9021MPiの場合

### DPX-8021Mi/6021Mの場合

## デモンストレーション切り替え

デモンストレーション表示にします。

押すたびに、デモンストレーションがオン/オフします。

# DSP Control

## DSPシステム

DSP機能を使います。

### DSPシステムをオンにします

Digital Signal Processor On
(DPX-9021MPi)

DSP On
(DPX-8021Mi/6021M)

DSP効果のかかった音が出力されます。
DSPシステムがオンのときには、DSPインジケーターが点灯します。
DSPの設定はDSPシステムがオンの状態でのみ行えます。

- 「オーディオコントロール」（46ページ）の"Balance" / "BAL" / "B-" および "Fader" / "FAD" / "F-" を中央以外に設定すると、正しいDSP効果が得られません。DSPシステムをオンにしたときは、"Balance" / "BAL" / "B-" および "Fader" / "FAD" / "F-" を中央位置で使用してください。
- 交通情報モード中は、自動的にDSP機能が解除（バイパス）されます。

### DSPシステムをオフにします

Digital Signal Processor OFF
(DPX-9021MPi)

DSP Off
(DPX-8021Mi/6021M)

"Digital Signal Processor OFF" / "DSP Off" と表示されるまで押し続けるか、またはDSPインジケーターが消えるまで押し続けます。
DSP効果が解除されます。

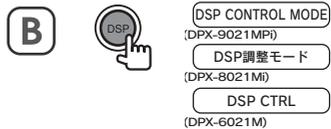
## DSPの設定

DSPの効果を設定します。

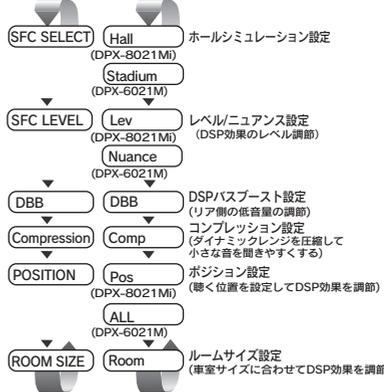
### 1 DSP調整モードにします

DSP CONTROL MODE
(DPX-9021MPi)

DSP調整モード
(DPX-8021Mi)

DSP CTRL
(DPX-6021M)

DSPシステムがオフのとき（DSPインジケーターが消灯時）は２回押します。

### 2 設定する項目を選択します

動かすたびに次の順で設定項目が切り替わります。

# DSP（デジタルシグナルプロセッサー）の設定ができます。また、設定内容を調整することもできます。

- ホールシミュレーション設定が“Bypass”（バイパス）の場合は、レベル/ニュアンス設定とDSPバスブースト設定は行えません。
- ポジションが“ALL”（車室の中央）の場合は、ルームサイズ設定は行えません。

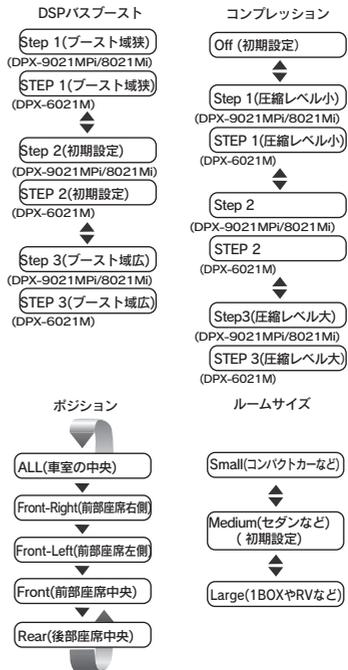
## 3 設定値を選択します

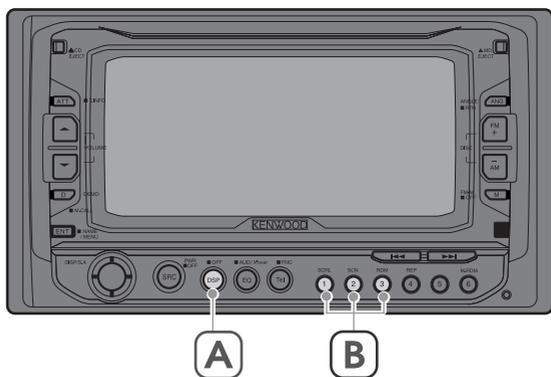
設定項目ごとの設定値は次のとおりです。

ホールシミュレーション

- Stadium (スタジアム)
- Concert (コンサートホール) (DPX-9021MPi/8021Mi)
- Concert Hall (コンサートホール) (DPX-6021M)
- Live House (ライブハウス)
- Theater (劇場)
- Disco (ディスコ)
- Club Disco(クラブディスコ)
- Jazz Club(ジャズクラブ)
- Studio(スタジオ)
- Listening(リスニングルーム)
- Church(教会)
- Bypass(バイパス)

レベル/ニュアンス

- Low (DSP効果小)
- Mid (初期設定)
- High (DSP効果大)

## 4 DSP調整モードを終了します

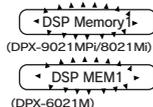
または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

## ユーザー設定のメモリー

DSP設定を３種類までメモリーしておくことができます。

### 1 DSPを設定します

前記の「DSPの設定」(38ページ)の手順１～３を参照してDSPの設定をします。

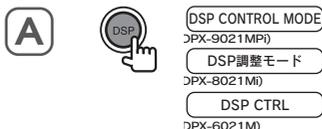
### 2 メモリーボタン（1～3のいずれか）を選択します

DSP Memory1
(DPX-9021MPi/8021Mi)
DSP MEM1
(DPX-6021M)

“DSP Memory○” / “DSP MEM○” 表示が１回点滅するまで押し続けます。

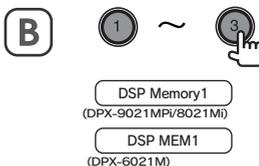
手順2の操作をする前に、DSP調整モードが解除された場合は、再び (DSP) を押してDSP調整モードにしてから手順２の操作をしてください。

## ユーザー設定の呼び出し

メモリーしたDSPの設定を呼び出します。

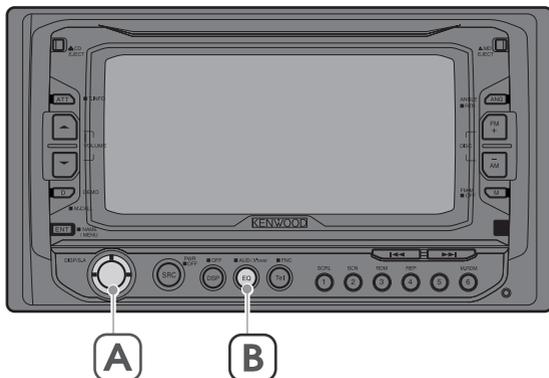
### 1 DSP調整モードにします

DSPシステムがオフのとき（DSPインジケーターが消灯時）は２回押します。

### 2 呼び出すメモリーボタン（1～3）を選択します

～
DSP Memory1
(DPX-9021MPi/8021Mi)
DSP MEM1
(DPX-6021M)

メモリーされているDSP設定が呼び出されます。

### 3 DSP調整モードを終了します

または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

# Equalizer Control

## イコライザーカーブの選択

イコライザーカーブを呼び出します。

### 1 イコライザーコントロールモードにします

EQCONTROL MODE
(DPX-9021MPi)

EQ調整モード
(DPX-8021Mi)

EQ CTRL
(DPX-6021M)

### 2 イコライザーカーブを選択します

押すたびに次の順で切り替わります。

イコライザーカーブの調節をしたときは、“User”から選択が始まります。

### 3 イコライザーコントロールモードを終了します

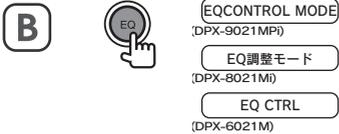
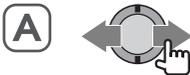
1秒以上押し続けるとイコライザーコントロールモードが終了します。
または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

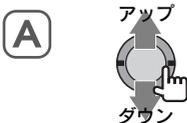
イコライザーカーブの設定や調節をします。



## イコライザーカーブの調節

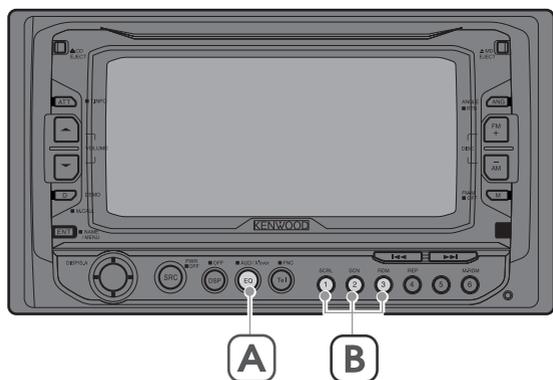
車や音楽に合わせて独自のイコライザーカーブに調節できます。

**1 イコライザーコントロールモードにします**

**2 調節する周波数を選びます**

60Hz〜16kHz（９ステップ）から選択します。

**3 レベルを調節します**

ー12dB〜＋12dB（13ステップ）から選択します。

**4 イコライザーコントロールモードを終了します**

１秒以上押し続けるとイコライザーコントロールモードが終了します。
または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

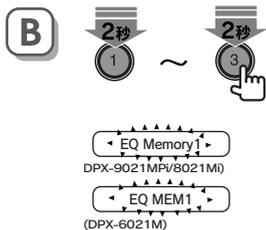
# Equalizer Control

## ユーザー設定のメモリー

イコライザーの設定を３種類までメモリーしておくことができます。

### 1 イコライザーを設定します

前記の「イコライザーカーブの調節」(43ページ)の手順１～３を参照してイコライザーの設定をします。

### 2 メモリーボタン（1~3のいずれか）を選択します

～

“EQ Memory○” / “EQ MEM○” 表示が１回点滅するまで押し続けます。

手順2の操作をする前に、イコライザーコントロールモードが解除された場合は、再び EQ を押してイコライザーコントロールモードにしてから手順２の操作をしてください。

## ユーザー設定の呼び出し

メモリーしたイコライザーの設定を呼び出します。

### 1 イコライザーコントロールモードにします

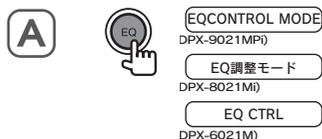
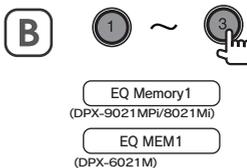
EQCONTROL MODE
DPX-9021MPi)

EQ調整モード
DPX-8021Mi)

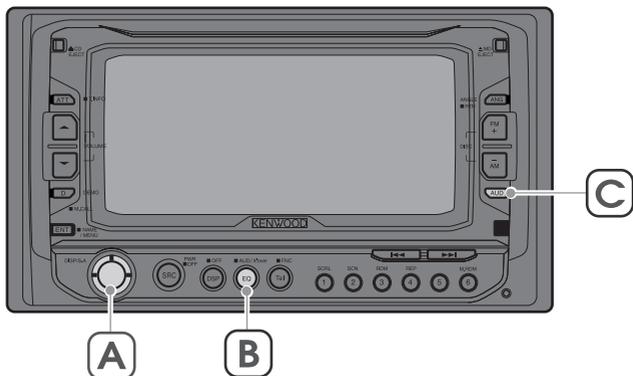
EQ CTRL
DPX-6021M)

### 2 呼び出すメモリーボタン（1~3）を選択します

EQ Memory1
(DPX-9021MPi/8021Mi)

EQ MEM1
(DPX-6021M)

メモリーされているイコライザーカーブが呼び出されます。

### 3 イコライザーコントロールモードを終了します

１秒以上押し続けるとイコライザーコントロールモードが終了します。
または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

# Audio Control

## オーディオコントロール

音量バランスなどを設定します。

### 1 オーディオ調整モードにします

**DPX-9021MPi/8021Miの場合**

AUDIO CONTROL MODE
DPX-9021MPi)

オーディオ調整モード
DPX-8021Mi)

“AUDIO CONTROL MODE” / “オーディオ調整モード” と表示されるまで押し続けます。

**DPX-6021Mの場合**

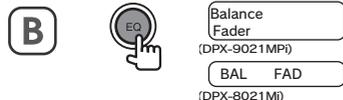
AUDIO CTRL

オーディオコントロールはALL OFFモード以外のモード中に設定できます。

### 2 コントロールモードを選びます

**DPX-9021MPi/8021Miの場合**

Balance
Fader
(DPX-9021MPi)

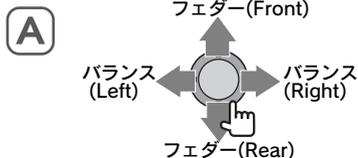
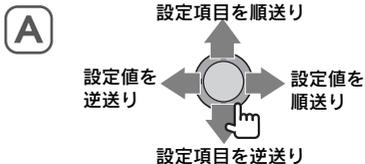
BAL FAD
(DPX-8021Mi)

**DPX-6021Mの場合**

B- F-

押すたびに、「アンプコントロールモード」、「フロント/リアクロスオーバーモード」、「ノンフェダークロスオーバーモード」、「バランス/フェダーモード」、とに切り替わります。

「ノンフェダークロスオーバーモード」は「ファンクションセット」(51/53/55ページ) の “PREOUT” / “Preout” 項目が “N-F” に設定されているときに選択できます。

### 3 設定項目と値を選択します

**バランス/フェダーモード中は・・・**

**その他のモード中は・・・**

### 4 オーディオ調整モードを終了します

**DPX-9021MPi/8021Miの場合**

**DPX-6021Mの場合**

設定できる項目と値は次のとおりです。

- 設定項目の詳しい機能説明は「Help? Word」(84ページ)を参照してください。
- 設定項目の[ ]はDPX-8021Miの表示、< >はDPX-6021Mの表示です。
- 太字は初期設定値です。

音量バランスの調節やサブウーファー追加時のクロスオーバーネットワークの設定などをします。
また、交通情報を受信時の音量を設定します。

**バランス/フェダーモード中の設定項目**

| 設定項目 | 設定値 |
|---|---|
| Balance<br>[ BAL ]<br>< B- ><br>(左右の音量バランス) | L15～**00**～R15 |
| Fader<br>[ FAD ]<br>< F- ><br>(前後の音量バランス) | F15～**00**～R15 |

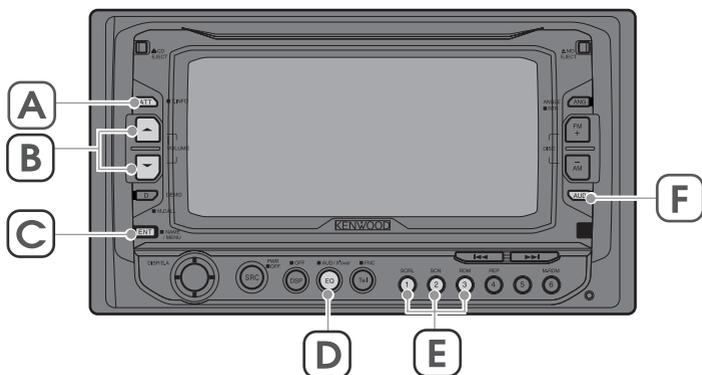
**アンプコントロールモード中の設定項目**

| 設定項目 | 設定値 |
|---|---|
| Amp CTRL<br>< Amp Cont ><br>(外部アンプコントロール) | **Off**/ 1 / 2 |

**フロント/リアクロスオーバーモード中の設定項目**

| 設定項目 | 設定値 |
|---|---|
| HPF Front<br>[ HPF-F ]<br>< HPF-F ><br>(フロント低音カット) | **Through<Off >**/30/60/90/120/150/180/250(Hz) |
| HPF Rear<br>[ HPF-R ]<br>< HPF-R ><br>(リア低音カット) | **Through<Off >**/30/60/90/120/150/180/250(Hz) |
| HPF Slope<br>(低音カットスロープ) | **12**/18/24<br>(dB/Oct.) |
| Time Delay Front<br>[ T-DLY F ]<br>< T-DLY F ><br>(フロント遅延時間) | **Off**/0.5～18<br>(ms) |
| Time Delay Rear<br>[ T-DLY R ]<br>< T-DLY R ><br>(リア遅延時間) | **Off**/0.5～18<br>(ms) |

**ノンフェダークロスオーバーモード中の設定項目**

| 設定項目 | 設定値 |
|---|---|
| LPF<br>(ノンフェダー高音カット) | 60/80/100/120/150/<br>**Through<Off >**(Hz) |
| LPF Slope<br>(高音カットスロープ) | **12**/18/24<br>(dB/Oct.) |
| Time Delay N-F<br>[ T-DLY NF ]<br>< T-DLY NF ><br>(ノンフェダー遅延時間) | **Off**/0.5～18<br>(ms) |
| Non Fader<br>< N-F ><br>(ノンフェダープリアウト出力レベル) | −−−～**00**～＋10 |

## クロスオーバー設定のメモリー

**クロスオーバーの設定を3種類までメモリーしておくことができます。**

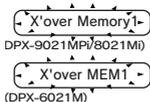
### 1 クロスオーバーを設定します

前記の「オーディオコントロール」(46ページ)の手順1～3を参照して、「フロント/リアクロスオーバーモード」、および「ノンフェダークロスオーバーモード」の調整をします。

### 2 メモリーボタン(1～3のいずれか)を選びます

～

X'over Memory1
DPX-9021MPi/8021Mi)

X'over MEM1
(DPX-6021M)

“X'over Memory○” / “X'over MEM○” 表示が1回点滅するまで押し続けます。

フロント/リアクロスオーバーモード、およびノンフェダークロスオーバーモードの設定がメモリーされます。

### 3 オーディオ調整モードを終了します

**DPX-9021MPi/8021Mi**

**DPX-6021Mの場合**

クロスオーバーモードの設定項目のうち、“Non Fader” / “N-F” 項目の設定値はメモリーされません。

## クロスオーバー設定の呼び出し

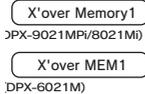
メモリーしたクロスオーバー設定を呼び出します。

**1 クロスオーバーコントロールモードにします**

前記の「オーディオコントロール」(46ページ)の手順1～2を参照して「フロント/リアクロスオーバーモード」または「ノンフェダークロスオーバーモード」にします。

**2 呼び出すメモリーボタン(1～3)を選びます**

～
X'over Memory1
(DPX-9021MPi/8021Mi)

X'over MEM1
(DPX-6021M)

**3 オーディオ調整モードを終了します**

**DPX-9021MPi/8021Miの場合**

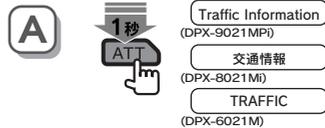
**DPX-6021Mの場合**

## 交通情報音量設定

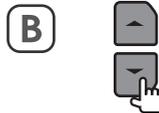
交通情報受信時の音量をメモリーします。

**1 交通情報モードにします**

Traffic Information
(DPX-9021MPi)

交通情報
(DPX-8021Mi)

TRAFFIC
(DPX-6021M)

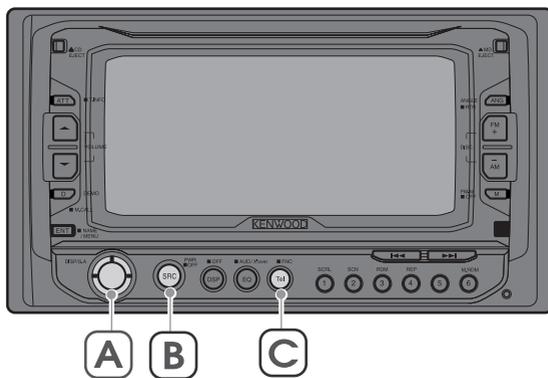
"Traffic Information" / "交通情報" / "TRAFFIC"と表示されるまで押し続けます。

**2 設定したい音量にします**

**3 音量をメモリーします**

音量表示が1回点滅するまで押し続けます。

次回から交通情報モードにすると、自動的にこの設定した音量になります。

手順3の操作は音量表示中に行ってください。

# Function Set Mode



## ファンクションセット(DPX-9021MPi)

操作時のビープ音などの各種の機能を設定します。

**1 設定したい項目があるモードにします**

**2 ファンクションセットモードにします**

FUNCTION SET

“FUNCTION SET” と表示されるまで押し続けます。

**3 設定項目を選択します**

右表の順番で設定項目が切り替わります。

**4 設定値を選択します**

**5 ファンクションセットモードを終了します**

設定できる項目と値は次のとおりです。

- 設定項目の詳しい機能説明は「Help? Word」(84ページ)を参照してください。
- 太字は初期設定値です。

### 全モード中の設定項目

| 設定項目 | 設定値 |
|---|---|
| 電話音声出力<br>(受話音スピーカー設定) | **左**/右 |
| 着信コール音量設定<br>(着信時の呼び出し音の音量設定) | 00～**22**～35 |
| 電話自動着信<br>(自動応答時間設定) | **Off**/5/7/10秒 |
| 電話 ダウンロード<br>(携帯電話メモリーの読み込み) | 読み込みの方法は64ページをご覧ください。 |
| 電話メモリ クリア<br>(登録メモリーダイヤルの消去) | 消去の方法は65ページをご覧ください。 |
| 着信ダイヤル番号表示<br>(着信時に相手の電話番号を表示) | **On**/Off |

- “TELコネクタ”項目が“BUS”に設定されているときは、携帯電話を接続しているときに上記項目の表示・設定が可能です。また、“Miniplug”に設定されているときは、上記項目のうち“電話音声出力”項目のみ表示・設定ができます。
- “電話音声出力”項目の設定は、ハンズフリーシステムのハウリングを防ぐため、運転席とは逆のスピーカー（右ハンドル車の場合は左スピーカー）に設定してください。

### MD/CD(MP3)/Changerモード中の設定項目

| 設定項目 | 設定値 |
|---|---|
| オートスクロール<br>(ディスクタイトル/CDテキストオートスクロール) | **On**/Off |

MDプレイ時とCD(MP3)プレイ時のそれぞれで設定が可能です。

# DPX-9021MPiの各種の機能を設定します。

### MP3ファイルプレイ中の設定項目

| 設定項目 | 設定値 |
|---|---|
| ID3 Tag表示<br>(MP3 ID3 Tagの読み込み・表示設定) | **On**/Off |

### AUXモード中の設定項目

| 設定項目 | 設定値 |
|---|---|
| AUX 音量設定<br>(AUXソース時の入力レベル設定) | +**00**～+15 (dB) |

### TUNERモード中の設定項目

| 設定項目 | 設定値 |
|---|---|
| SEEK MODE<br>(チューニングモード) | **AUTO1**/AUTO2/ Manual |
| MONO<br>(FM放送モノラルチューニング) | On/**Off** |
| オートメモリースタート準備<br>(オートメモリー) | メモリーの方法は25ページをご覧ください。 |

- “MONO”項目はFM放送を受信時に設定が可能になります。
- FM放送モノラルチューニングをオンにしているときはMONOインジケーターが点灯します。

### FM多重モード中の設定項目

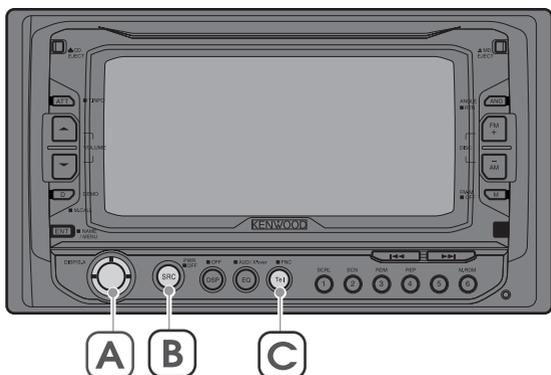
| 設定項目 | 設定値 |
|---|---|
| FM多重表示継続<br>(ソースを切り替えたときなどでも文字情報表示を継続します) | **禁止**/許可 |
| スクロールタイム<br>(文字情報表示のスクロール間隔) | 1～**2**～5 秒 |
| 自動時刻補正<br>(FM多重情報による時刻自動補正) | **On**/Off |
| 優先表示<br>(FM多重情報による放送局名表示の優先設定) | **On**/Off |

- FM多重システムがオンのときはALL OFF, TUNER, MD, CDおよびChangerモードの設定は行えません。FM多重システムをオフにしてから設定を行ってください。(30ページ)
- 上記項目は「FM多重モード切り替え」(30ページ)で「FM多重2行表示モード」を選択している時のみ設定が可能です。

### ALL OFFモード中の設定項目

| 設定項目 | 設定値 |
|---|---|
| BEEP(ビープ音) | **On**/Off |
| FMダイバシティ<br>(FMダイバシティシステム設定) | On/**Off** |
| PREOUT<br>(プリアウト出力選択) | **Rear**/N-F |
| CD漢字優先表示<br>(CDテキストの漢字の優先表示) | **On**/Off |
| MD漢字優先表示<br>(MDディスクタイトルの漢字の優先表示) | **On**/Off |
| オープニング画面表示<br>(電源オン時のデモンストレーション表示) | **On**/Off |
| コード書き込み準備<br>(セキュリティコードの登録モード) | 登録の方法は56ページをご覧ください。 |
| NAV . MUTE<br>(ナビ音声ガイド時のミュート設定) | On/**Off** |
| AUX IN<br>(AUXソース切り替え設定) | On/**Off** |
| TELコネクタ<br>(携帯電話接続タイプ設定) | **BUS**/Miniplug |
| 内蔵AMP MUTE<br>(内蔵アンプの出力停止設定) | On/**Off** |

AUXソースを使用しないときは“AUX IN”項目を“Off”に設定してください。“On”のまま使用すると雑音が出ることがあります。

# Function Set Mode

## ファンクションセット(DPX-8021Mi)

操作時のビープ音などの各種の機能を設定します。

**1 設定したい項目があるモードにします**

**2 ファンクションセットモードにします**

FNCファンクションセット

"FNCファンクションセット"と表示されるまで押し続けます。

**3 設定項目を選択します**

右表の順番で設定項目が切り替わります。

**4 設定値を選択します**

**5 ファンクションセットモードを終了します**

設定できる項目と値は次のとおりです。

- 設定項目の詳しい機能説明は「Help? Word」(84ページ)を参照してください。
- 太字は初期設定値です。

### 全モード中の設定項目

| 設定項目 | 設定値 |
|---|---|
| 電話音声出力<br>(受話音スピーカー設定) | **左**/右 |
| 着信コール音量設定<br>(着信時の呼び出し音の音量設定) | 00〜**22**〜35 |
| 電話自動着信<br>(自動応答時間設定) | **Off**/5/7/10秒 |
| 電話 ダウンロード<br>(携帯電話メモリーの読み込み) | 読み込みの方法は64ページをご覧ください。 |
| 電話メモリ クリア<br>(登録メモリーダイヤルの消去) | 消去の方法は65ページをご覧ください。 |
| 着信ダイヤル番号表示<br>(着信時に相手の電話番号を表示) | **On**/Off |

- "TELコネクタ"項目が"BUS"に設定されているときは、携帯電話を接続しているときに上記項目の表示・設定が可能です。また、"Miniplug"に設定されているときは、上記項目のうち"電話音声出力"項目のみ表示・設定ができます。
- "電話音声出力"項目の設定は、ハンズフリーシステムのハウリングを防ぐため、運転席とは逆のスピーカー（右ハンドル車の場合は左スピーカー）に設定してください。

### MD/CD/Changerモード中の設定項目

| 設定項目 | 設定値 |
|---|---|
| Title/Text SCRL<br>(ディスクタイトル/CDテキストオートスクロール) | **On**/Off |

MDプレイ時とCDプレイ時のそれぞれで設定が可能です。

# DPX-8021Miの各種の機能を設定します。

### AUXモード中の設定項目

| 設定項目 | 設定値 |
|---|---|
| AUX 音量設定<br>(AUXソース時の入力レベル設定) | +**00**～+15 (dB) |

### Tunerモード中の設定項目

| 設定項目 | 設定値 |
|---|---|
| SEEK<br>(チューニングモード) | **AUTO1**/AUTO2/Manual |
| Mono<br>(FM放送モノラルチューニング) | On/**Off** |
| オートメモリースタート準備<br>(オートメモリー) | メモリーの方法は25ページをご覧ください。 |

- “Mono”項目はFM放送を受信時に設定が可能になります。
- FM放送モノラルチューニングをオンにしているときはMONOインジケーターが点灯します。

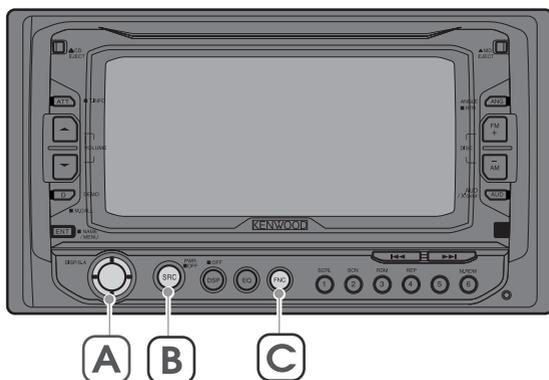
### FM多重モード中の設定項目

| 設定項目 | 設定値 |
|---|---|
| FM多重表示継続<br>(ソースを切り替えたときなどでも文字情報表示を継続します) | **禁止**/許可 |
| スクロールタイム<br>(文字情報表示のスクロール間隔) | 1～**2**～5 秒 |
| 自動時刻補正<br>(FM多重情報による時刻自動補正) | **On**/Off |
| 優先表示<br>(FM多重情報による放送局名表示の優先設定) | **On**/Off |

FM多重システムがオンのときはALL OFF、Tuner、MD、CD、およびChangerモードの設定は行えません。FM多重システムをオフにしてから設定を行ってください。(30ページ)

### ALL OFFモード中の設定項目

| 設定項目 | 設定値 |
|---|---|
| ビープ(ビープ音) | **On**/Off |
| FMダイバーシティ<br>(FMダイバーシティシステム設定) | On/**Off** |
| PREOUT<br>(プリアウト出力選択) | **Rear**/N-F |
| 文字輝度調整<br>(ライトスイッチがオンのときのディスプレイの明るさを設定) | Step<br>01～**06**～13 |
| CD漢字優先表示<br>(CDテキストの漢字の優先表示) | **On**/Off |
| MD漢字優先表示<br>(MDディスクタイトルの漢字の優先表示) | **On**/Off |
| オープニング画面表示<br>(電源オン時のデモンストレーション表示) | **On**/Off |
| コード書き込み準備<br>(セキュリティコードの登録モード) | 登録の方法は56ページをご覧ください。 |
| NAV . MUTE<br>(ナビ音声ガイド時のミュート設定) | On/**Off** |
| AUX<br>(AUXソース切り替え設定) | On/**Off** |
| TELコネクタ<br>(携帯電話接続タイプ設定) | **BUS**/Miniplug |
| 内蔵AMP MUTE<br>(内蔵アンプの出力停止設定) | On/**Off** |

AUXソースを使用しないときは“AUX”項目を“Off”に設定してください。“On”のまま使用すると雑音が出ることがあります。

## ファンクションセット(DPX-6021M)

操作時のビープ音などの各種の機能を設定します。

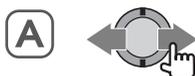
**1 設定したい項目があるモードにします**

**2 ファンクションセットモードにします**

Function Set

**3 設定項目を選択します**

右表の順番で設定項目が切り替わります。

**4 設定値を選択します**

**5 ファンクションセットモードを終了します**

設定できる項目と値は次のとおりです。

- 設定項目の詳しい機能説明は「Help? Word」(84ページ)を参照してください。
- 太字は初期設定値です。

### MD/CD/Changerモード中の設定項目

| 設定項目 | 設定値 |
|---|---|
| AT.SCRL<br>(ディスクタイトル/CDテキストオートスクロール) | **On**/Off |

MDプレイ時とCDプレイ時のそれぞれで設定が可能です。

### TUNERモード中の設定項目

| 設定項目 | 設定値 |
|---|---|
| Seek<br>(チューニングモード) | **AUTO1**/AUTO2/Manual |
| MONO<br>(FM放送モノラルチューニング) | On/**Off** |
| AME Ready<br>(オートメモリー) | メモリーの方法は25ページをご覧ください。 |

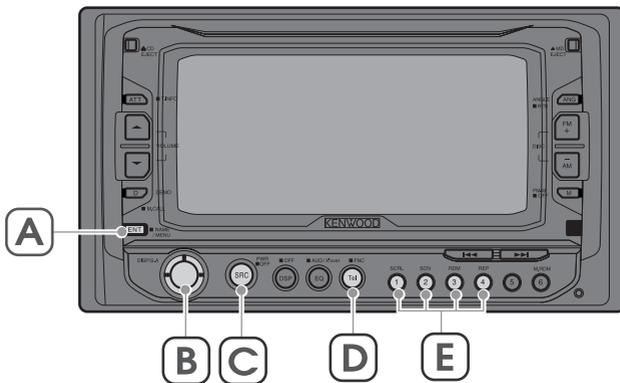
- “MONO”項目はFM放送を受信時に設定が可能になります。
- FM放送モノラルチューニングをオンにしているときは MC インジケーターが点灯します。

## DPX-6021Mの各種の機能を設定します。



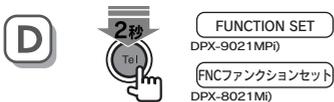
### ALL OFFモード中の設定項目

| 設定項目 | 設定値 |
|---|---|
| BEEP<br>(ビープ音） | **On**/Off |
| Preout<br>(プリアウト出力選択) | **Rear**/N-F |
| Opening<br>(電源オン時のデモンストレーション表示) | **On**/Off |
| CODE STBY<br>(セキュリティコードの登録モード） | 登録の方法は56ページをご覧ください。 |
| NAV . ATT<br>(ナビ音声ガイド時のミュート設定） | On/**Off** |
| AMP MUTE<br>(内蔵アンプの出力停止設定） | On/**Off** |

# Function Set Mode

## セキュリティコード

**暗証番号を登録することにより盗難を抑制します。**

設定したセキュリティコードは変更・削除はできません。また、機能の解除もできません。
コードは忘れないようにメモを取るなどしてください。

### 1 ALL OFFモードにします

ALL OFF

### 2 ファンクションセットモードにします

**DPX-9021MPi/8021Miの場合**

FUNCTION SET
(DPX-9021MPi)

FNCファンクションセット
(DPX-8021Mi)

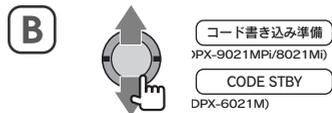
“FUNCTION SET” / “FNCファンクションセット” と表示されるまで押し続けます。

**DPX-6021Mの場合**

Function Set

### 3 セキュリティコード項目を選択します

コード書き込み準備
(DPX-9021MPi/8021Mi)

CODE STBY
(DPX-6021M)

### 4 セキュリティコード入力を開始します

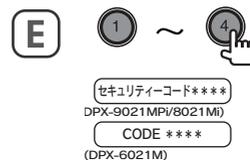
コード書き込みモード
(DPX-9021MPi/8021Mi)

CODE WRITE
(DPX-6021M)

“コード書き込みモード” / “CODE WRITE” と表示されるまで押し続けます。

### 5 セキュリティコードを入力します

～
セキュリティーコード＊＊＊＊
(DPX-9021MPi/8021Mi)

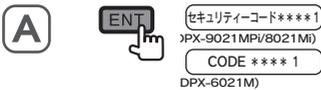
CODE ＊＊＊＊
(DPX-6021M)

**例：3510の場合**

| ボタン | 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|---|
| 押す回数 | 4 | 6 | 2 | 1 |
| 表示 | 3 | 5 | 1 | 0 |

**セキュリティコードを設定すると、電源コードを外したときなどの次に使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになり、盗難防止の手助けとなります。**

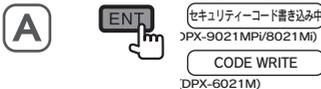


### 6 セキュリティコードを登録します

セキュリティーコード＊＊＊＊1
(DPX-9021MPi/8021Mi)
CODE ＊＊＊＊ 1
(DPX-6021M)

### 7 セキュリティコードを再入力します

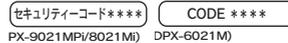
確認のためセキュリティコードを手順５の方法で再度入力します。

手順５と違うコードを入力して手順８の操作を行うと、手順５の１回目のセキュリティコードの入力に戻ります。

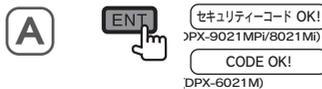
### 8 セキュリティコードを再登録します

セキュリティコードの登録が完了後に、リセットボタンを押したり、本機をバッテリーの接続から外すと、登録したセキュリティコードの入力が必要になります。詳しくは以下をご覧ください。

**リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外してから最初に使うときは・・・**

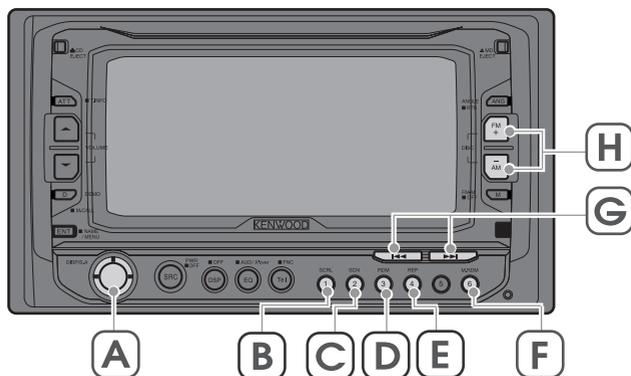
### 1 セキュリティコード入力状態にします

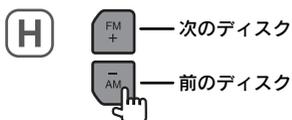
セキュリティーコード＊＊＊＊ (DPX-9021MPi/8021Mi)
CODE ＊＊＊＊ (DPX-6021M)

電源をオンにしてから、デモンストレーション終了後に“セキュリティーコード ＊＊＊＊”/“CODE ＊＊＊＊”表示がされるまで数秒間待ちます。

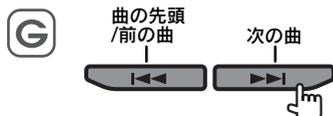
### 2 セキュリティコードを入力します

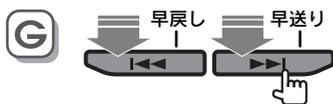
### 3 セキュリティコードを確定します

本機が使用可能となります。

セキュリティコードを登録したときと違うコードで入力すると、“セキュリティーコード NG”/“CODE NG”と表示した後、電源が自動的にオフになります。このようなときは、SRC を押して電源をオンにしてから再度セキュリティコードを入力してください。

# External Disc Control

## ディスクサーチ

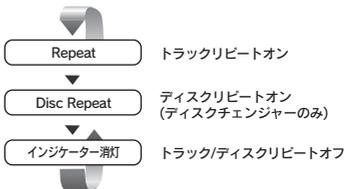
プレイするディスクを選択します。

## トラックサーチ

順に曲を選びます。

## マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り／早戻しします。

ボタンを押している間だけ、早送り／早戻しされます。

## トラック/ディスクリピートプレイ

現在聴いている曲またはディスクを繰り返しプレイします。

押すたびに、次のようにオン/オフします。トラックリピートプレイがオンのときはREPインジケーターが点灯し、ディスクリピートプレイがオンのときはD.REPインジケーターが点灯します。

## トラックランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。

押すたびに、トラックランダムプレイがオン／オフされます。ランダムプレイ中はRDMインジケーターが点灯します。

を押すと次の曲をランダムに選択します。

別売品のディスクチェンジャーなどを接続しているときは、本機からコントロールできます。

ディスクチェンジャーへの切り替えかたは「ソース選択」（16ページ）をご覧ください。

## マガジンランダムプレイ

マガジン内のディスクの曲をランダムな順でプレイします。

M-Random

押すたびに、マガジンランダムプレイがオン／オフされます。マガジンランダムプレイがオンのときは、M.RDMインジケーターが点灯します。

 を押すと次の曲をランダムに選択します。

## トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

**1 トラックスキャンプレイを開始します**

Track Scan

トラックスキャンプレイ中はSCNインジケーターが点灯します。

**2 聴きたい曲のところで…**

その曲からプレイされます。

すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンプレイは、自動的に終了します。

## タイトル/テキストスクロール

"オートスクロール" / "Title/Text SCRL" / "AT.SCRL" 設定が "Off" のときにタイトル/テキスト表示をスクロールさせます。

**1 タイトル/テキスト表示にします**

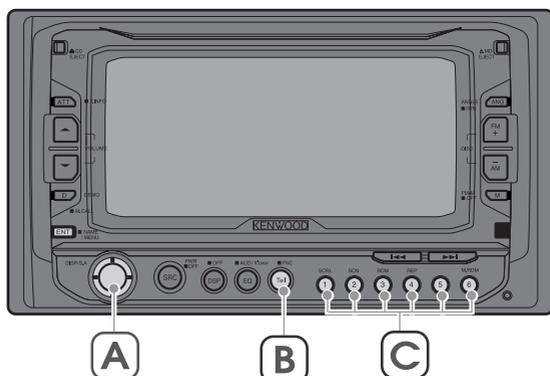
Disc Title

「ディスプレイ情報表示切り替え」（34/36ページ）を参照して、ディスク/トラックタイトルまたはディスク/トラックテキストを表示します。

**2 スクロール表示します**

タイトルまたはテキスト表示が1回スクロールします。

"オートスクロール" / "Title/Text SCRL" / "AT.SCRL" 設定が "On" になっているときに上記の操作を行うと、ディスク/トラックタイトルまたはディスク/トラックテキストが最初の文字からスクロールを開始します。（"オートスクロール" / "Title/Text SCRL" / "AT.SCRL" 設定の方法は、50/52/54ページの「ファンクションセット」を参照してください）

# Telephone Control

## ハンズフリーで電話をかける

**携帯電話を持たずに電話をします。**

- 携帯電話接続時の注意事項が「携帯電話を本機に接続する前に」と「携帯電話をCA-HF100/HF200で接続したときは」（8ページ）に記載されています。使用する前にお読みください。
- 電話番号を携帯電話から本機に読み込んでいないと使用できません。電話番号の読み込みかたは「携帯電話メモリー読み込み」（64ページ）を参照してください。

### 1 テレホンモードにします

電話検索モード

### 2 電話検索モードを選択します

押すたびに次の順で切り替わります。

ア：○○○○○　ネーム検索モード（名前の頭文字の読みから選択します）

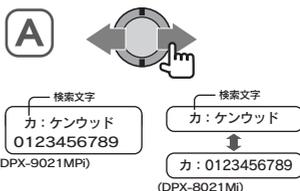
S0：△△△△△　リダイヤル検索モード（以前かけたことのある電話番号より選択します）

R0：×××××　着信履歴検索モード（以前かかってきたことのある電話番号より選択します）

### 3 電話番号を選びます

**ネーム検索モードで電話番号を選びます**

検索文字
カ：ケンウッド
0123456789
(DPX-9021MPi)

検索文字
カ：ケンウッド
カ：0123456789
(DPX-8021Mi)

動かすたびに名前が切り替わります。
表示される“名前”は携帯電話にメモリーされている“読み”に準じます。
DPX-9021MPiは“検索文字：名前”と“電話番号”が表示され、DPX-8021Miは“検索文字：名前”と“検索文字：電話番号”が交互に表示されます。

ENT を押すと検索する文字種が以下のように切り替わります。

ア：○○○○○　カタカナ検索モード

A：○○○○○　英大文字検索モード

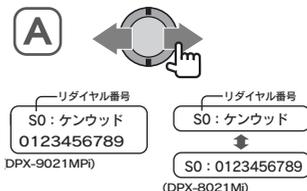
a：○○○○○　英小文字検索モード

0：○○○○○　数字/記号検索モード

**リダイヤル検索モードで電話番号を選びます**

リダイヤル番号
S0：ケンウッド
0123456789
DPX-9021MPi)

リダイヤル番号
S0：ケンウッド
S0：0123456789
(DPX-8021Mi)

Options

別売品のCA-HF100またはCA-HF200を使って携帯電話を接続すると、ハンズフリー通話や本機からの携帯電話のコントロールなどができます。

(別売品のCA-HF300を使って携帯電話を接続した場合は「Hands-free call Control」66ページをご覧ください)

以前にかけた最新の10件から電話番号、名前で選択します。
DPX-9021MPiは“リダイヤル番号：名前”と“電話番号”が表示され、DPX-8021Miは“リダイヤル番号：名前”と“リダイヤル番号：電話番号”が交互に表示されます。

**着信履歴検索モードで電話番号を選びます**

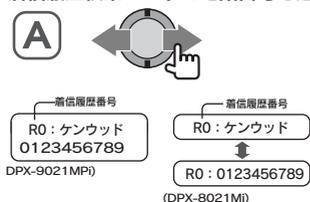
着信履歴番号

R0：ケンウッド
0123456789

DPX-9021MPi)

着信履歴番号

R0：ケンウッド

R0：0123456789

(DPX-8021Mi)

以前にかかってきた最新の10件から電話番号を選択します。
DPX-9021MPiは“着信履歴番号：名前”と“電話番号”が表示され、DPX-8021Miは“着信履歴番号：名前”と“着信履歴番号：電話番号”が交互に表示されます。

**ダイレクトダイヤルから電話番号を選びます**

～

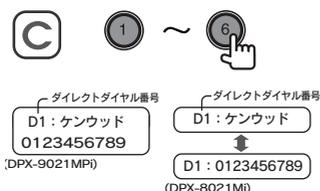
ダイレクトダイヤル番号

D1：ケンウッド
0123456789

(DPX-9021MPi)

ダイレクトダイヤル番号

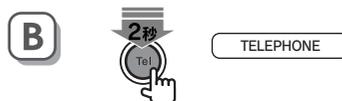
D1：ケンウッド

D1：0123456789

(DPX-8021Mi)

メモリーしてある６件の電話番号から選択します。

DPX-9021MPiは“ダイレクトダイヤル番号：名前”と“電話番号”が表示され、DPX-8021Miは“ダイレクトダイヤル番号：名前”と“ダイレクトダイヤル番号：電話番号”が交互に表示されます。

- “名前”は、本機に該当する電話番号がメモリーされていない場合は表示されません。
- ダイレクトダイヤルのメモリーのしかたは「ダイレクトダイヤルメモリー」(63ページ)を参照してください。

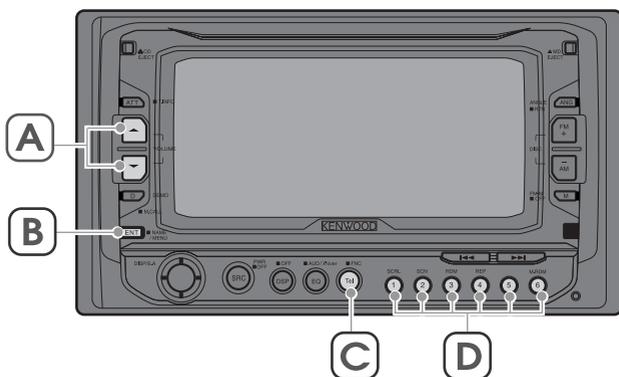
## 4 電話をかけます

TELEPHONE

“TELEPHONE”と表示されるまで押し続けます。
相手が応答するとハンズフリー通話ができます。
通話中は、選択中のソースが一時停止状態になります。

- 通話中に [SRC] を押すと通話は切断され、オーディオソースに切り替わります。
- 接続している携帯電話によっては、通信事業会社からの案内メッセージなどがスピーカーから聞こえないことがあります。

## 5 通話を終了します

電話をかける前のソースに戻ります。

# Telephone Control

## ハンズフリーで電話を受ける

携帯電話を持たずに電話にでられます。

### 1 電話がかかってきたら…

ケンウッド
0123456789
(DPX-9021MPi)

TELEPHONE
⇕
ケンウッド
(DPX-8021Mi)

ハンズフリーで通話ができます。
着信中は、DPX-9021MPiは“発信者の名前”と“電話番号”（本機に該当する電話番号がメモリーされていない場合は“TELEPHONE”と“電話番号”）が表示され、DPX-8021Miは“TELEPHONE”と“発信者の名前”（本機に該当する電話番号がメモリーされていない場合は“TELEPHONE”と“電話番号”）が交互に表示されます。
「ファンクションセット」（50/52ページ）の“電話自動着信”項目が5、7、または10秒に設定されている場合は、設定した時間が経つと自動的に応答し、ハンズフリー通話ができます。
通話中は、選択中のソースが一時停止状態になります。

- 着信状態のときに  を押すと、電話を応答せずに切ることができます。
- 本機の操作では応答保留にすることはできません。
- 発信者からの番号通知がない場合や、「ファンクションセット」（50/52ページ）の“着信ダイヤル番号表示”項目を“Off”に設定している場合の着信表示は、“TELEPHONE”表示になります。

### 2 通話を終了します

電話をかける前のソースに戻ります。

## プライベート通話

ハンズフリー通話中に携帯電話での通話に切り換えます。

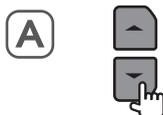
プライベート通話中

通話中に押すたびに、ハンズフリー通話とプライベート通話とに切り替わります。

- 発信中または着信中にプライベート通話にすると正常に発信・着信ができない場合があります。プライベート通話への切り替えは通話中に行ってください。
- 接続している携帯電話によっては、プライベート通話機能が正常に動作しない場合があります。本機能の対応している携帯電話の機種についてはカタログをご覧ください。

（別売品のCA-HF300を使って携帯電話を接続した場合は「Hands-free call Control」66ページをご覧ください）

## 受話音量の調節

ハンズフリー通話中の相手の声の大きさを調節します。

**ハンズフリー通話中に…**

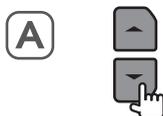
相手の声の大きさを調節します。

次回からのハンズフリー通話は、自動的にこの調節した受話音量となります。

受話音量を大きくするとエコーが発生しやすくなります。
エコーが発生したときは、受話音量をできるだけ小さくしてください。エコー音は、受話音量に比例して大きくなります。

## 着信音量の調節

呼び出し音の大きさを調節します。

**着信中に…**

呼び出し音の大きさを調節します。

次回からの呼び出し音は、自動的にこの調節した音量となります。

この呼び出し音量の設定は「ファンクションセット」（50/52ページ）の“着信コール音量設定”項目と同一の設定です。
このため、“着信コール音量設定”項目の設定値は、この機能で設定した設定値に置き換わります。

## ダイレクトダイヤルメモリー

ダイレクトダイヤルに電話番号をメモリーします。

**1 テレホンモードにします**

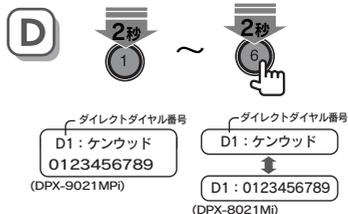
電話検索モード

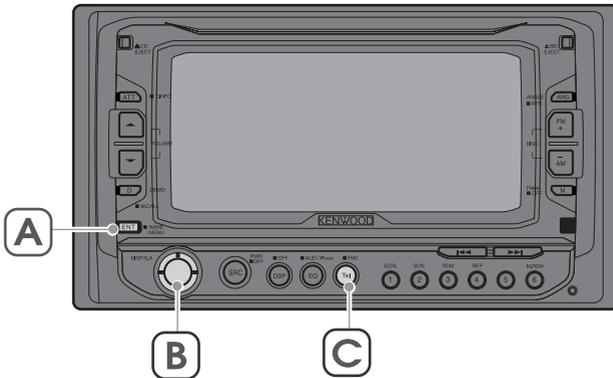
**2 メモリーしたい電話番号を選びます**

「ハンズフリーで電話をかける」（60ページ）の手順2～3を参照して電話番号を選びます。

**3 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます**

～
ダイレクトダイヤル番号
D1：ケンウッド
0123456789
(DPX-9021MPi)

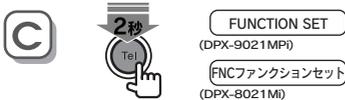
ダイレクトダイヤル番号
D1：ケンウッド
D1：0123456789
(DPX-8021Mi)

“D○:△△△△△”と表示されるまで押し続けます。

# Telephone Control

## 携帯電話メモリーダイヤル読み込み

携帯電話にメモリーされている電話番号を最大100件まで読み込みます。

### 1 ファンクションセットモードにします

FUNCTION SET
(DPX-9021MPi)

FNCファンクションセット
(DPX-8021Mi)

“FUNCTION SET” / “FNCファンクションセット”と表示されるまで押し続けます。

### 2 電話番号読み込み項目を選択します

電話ダウンロード 0000

### 3 電話番号の読み込み始める番号を指定します

押すたびに、携帯電話から読み込みを始める電話番号のメモリー番号の指定が変わります。“0100”と指定した場合、携帯電話のメモリー番号の「100」から「199」を読み込みます。指定できる番号は50件単位で変わります。

### 4 電話番号読み込みを開始します

 インジケーターが早い点滅になるまで押し続けます。

読み込みが終了すると インジケーターが点滅から点灯に変わります。

- 携帯電話から100件の電話番号を読み込むためには、2〜4分程度の時間がかかります。
- 100件分のメモリー番号のうち、電話番号や名前が登録されていないメモリー番号があった場合は、登録されてないメモリー番号としてそのまま読み込まれます。
  また、シークレット機能がかかったメモリー番号は読み飛ばされます。

Options

携帯電話からメモリーダイヤルを読み込みます。
携帯電話の接続のしかたは、８ページの「携帯電話をCA-HF100/HF200で接続したときは」をご覧ください。

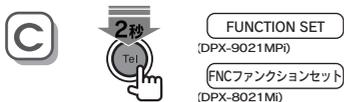
(別売品のCA-HF300を使って携帯電話を接続した場合は「Hands-free call Control」66ページをご覧ください)

## メモリーダイヤル消去

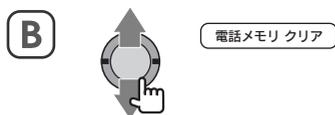
携帯電話から読み込んだ電話番号やダイレクトダイヤル、ダイヤル履歴、着信履歴などの本機にメモリーしてある電話番号をすべて消去します。

**1 ファンクションセットモードにします**

FUNCTION SET
(DPX-9021MPi)

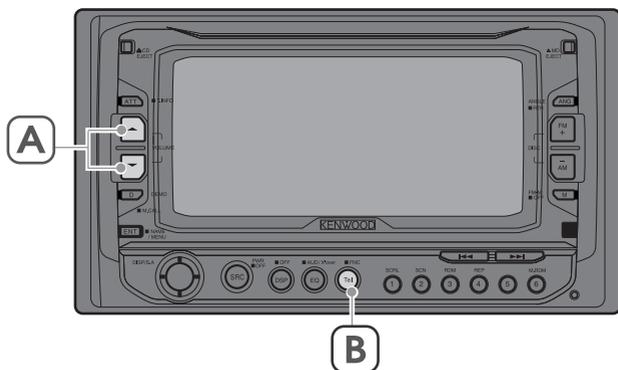
FNCファンクションセット
(DPX-8021Mi)

“FUNCTION SET” / “FNCファンクションセット”と表示されるまで押し続けます。

**2 電話番号の消去項目を選択します**

電話メモリ クリア

**3 電話番号の消去を実行します**

２秒以上押すと、ビープ音が2回鳴り、電話番号が消去されます。

電話番号の消去は、１つずつ個別に行う方法はありません。

# Hands-free call Control

- ハンズフリーキットCA-HF300（別売品）を使用して携帯電話を接続した場合は、「ファンクションセット」（51/53ページ）の“TELコネクタ”項目を“Miniplug”に設定してから使用してください。“BUS”の設定のままでは正しく動作しません。
- ハウリングを防止するため、携帯電話の受話音量は、最大に設定してください。

上記のほかにも、携帯電話接続時の注意事項が「携帯電話を本機に接続する前に」（8ページ）と「携帯電話をCA-HF300で接続したときは」（9ページ）に記載されています。使用する前にお読みください。

## 電話をかける

**携帯電話を持たずに通話をします。**

### 1 テレホンモードにします

TELEPHONE

TELEPHONEモードになります。
TELEPHONEモード中は、選択中のソースが一時停止状態になります。

電話機によってはスピーカーから自分の声が聞こえる（エコー）ことがあります。
エコーが発生したときは、本機の音量をできるだけ小さくしてください。エコー音は音量に比例して大きくなります。

### 2 携帯電話を操作して電話をかけます

携帯電話の操作方法は、携帯電話に付属の説明書をご覧ください。

相手が応答するとハンズフリー通話ができます。

注意　携帯電話の操作は、安全な場所に車を停車させてから行ってください。走行中に操作を行うと、交通事故の原因となります。

### 3 テレホンモードを終了します

テレホンモードにする前のソースに戻ります。

### 4 通話を終了します

携帯電話のオンフックボタン☎を押します。

別売品のCA-HF300を使って携帯電話を接続すると、ハンズフリー通話ができます。

(別売品のCA-HF100またはCA-HF200を使って携帯電話を接続した場合は「Telephone Control」60ページをご覧ください)

## 電話を受ける

携帯電話を持たずに通話をします。

**1 電話がかかってきたら…**

TELEPHONE

TELEPHONEモードとなります。
TELEPHONEモード中は、選択中のソースが一時停止状態になります。

**2 携帯電話を操作して電話を受けます**

携帯電話のオフフックボタン を押します。

ハンズフリー通話ができます。

携帯電話の操作は、安全な場所に車を停車させてから行ってください。走行中に操作を行うと、交通事故の原因となります。

**3 テレホンモードを終了します**

テレホンモードにする前のソースに戻ります。

**4 通話を終了します**

携帯電話のオンフック ボタンを押します。

## 受話音量の調節

ハンズフリー通話中の相手の声の大きさを調節します。

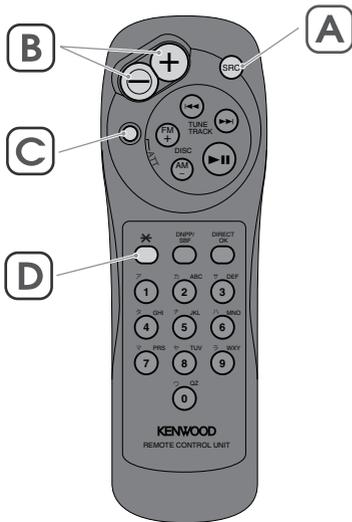
**ハンズフリー通話中に…**

相手の声の大きさを調節します。

次回からのハンズフリー通話は、自動的にこの調節した受話音量となります。

受話音量を大きくするとエコーが発生しやすくなります。
エコーが発生したときは、受話音量をできるだけ小さくしてください。エコー音は、受話音量に比例して大きくなります。

# Remote Control （DPX-9021MPi/8021Miに付属）

## Common Operation

### ソース切り替え

プレイするソースを切り替えます。

### 音量調節

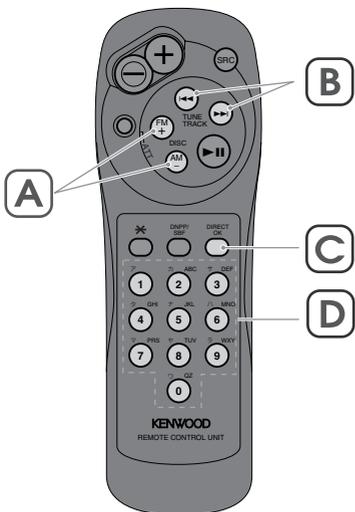
音量を調節します。

### アッテネーター

ワンタッチで音量を小さくします。もう一度押すと元の音量に戻ります。
⊕ を押しても元の音量に戻ります。

### パネル角度調整

パネルの角度を調整します。

## Tuner Operation

### バンド切り替え

受信するバンドを切り替えます。

### 選局

受信する放送局を選択します。

### ダイレクトサーチ

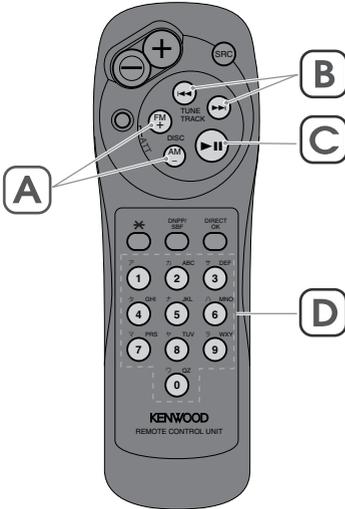
このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。
例：76.1MHz(FM)の場合
DIRECT OK ⑦⑥①
例：522kHz(AM)の場合）
DIRECT OK ⑤②②

### テンキー

メモリーされている放送局の番号を選択します。(①〜⑥)

DIRECTキーに続けて、受信するFM/AM放送局の周波数の数字を指定します。

# Disc/MP3 Operation

## （MP3 Operation: DPX-9021MPiのみ）

### ディスクサーチ(ディスクチェンジャーのみ)/フォルダサーチ

プレイするDISC/フォルダを選択します。
また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のディスクをダイレクトサーチします。

### トラックサーチ/ファイルサーチ

プレイする曲/ファイルを選択します。
また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のトラック/ファイルをダイレクトサーチします。

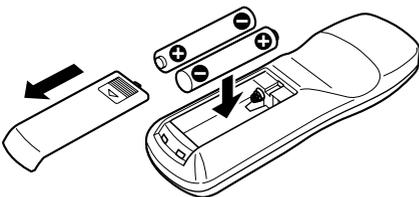
### プレイ/ポーズ

プレイを一時停止します。
もう一度押すと、プレイを再開します。

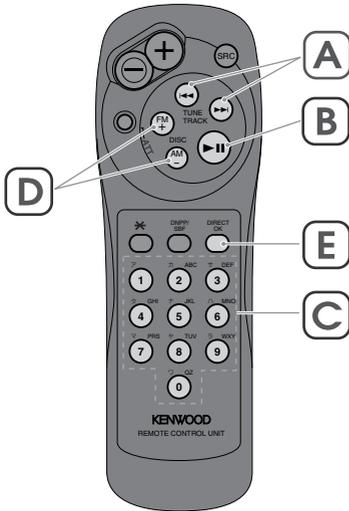
### テンキー

テンキーに続けてディスクサーチまたはトラックサーチキーを押すと、ダイレクトサーチできます。
MP3ファイルをプレイ時はテンキーに続けてファイルサーチキーを押すと現在のフォルダ内のファイルをダイレクトサーチできます。

## 電池の入れかた

付属の電池（単四型２本）を＋/－の向きを正しく合わせて入れてください。

操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、２個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。

- リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。
- 電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。
  また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

# SNPS/DNPS Operation

●SNPS/DNPSを開始するには、DPX-9021MPi/8021Mi本体の ENT を２秒以上押します。
●テンキーで数字・記号は入力できません。

## カーソル

カーソルを文字を入力する位置に移動します。

## 文字種切り替え

入力する文字の種類（英大文字/英小文字/カタカナ/ひらがな/数字・記号）を切り替えます。

## テンキー

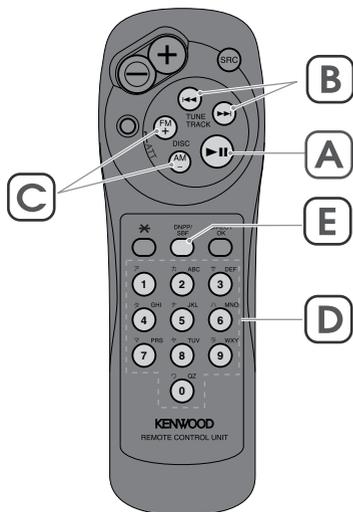
文字を入力します。
例：「コ」を入力する場合
（カタカナ）
②（９回押す）
例：「h」を入力する場合
（英小文字）
④（２回押す）

## 文字選択

文字を順に切り替えます。

## 終了

登録が完了します。

# FM Multi Operation

FM文字多重番組を表示するには、DPX-9021MPi/8021Mi本体の M を押します。

## メニュー階層戻し

A

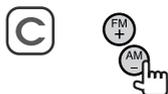
メニューの階層を１段階戻します。

## 選局

B

受信する放送局を選択します。

## 情報ページ切り替え

C

文字情報のページが切り替わります。

## テンキー

D

メニューを表示中に、番組の番号を選択します。

## AFサーチ

E

受信状態が悪くなったときに押すと、同じ放送系列の放送局を自動的に探し出します。

AFサーチ機能が使えるのは、受信している放送局から代替放送局の周波数の情報が送られているときです。このような情報を受信すると“AF”インジケーターが点灯します。

# Help ? Operation

## 電源がオンにならない

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| ●ヒューズが切れている。 | ●コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。 |
| ●入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。 | ●取付説明書を参照して正しく接続し直してください。 |

## 音が出ない/音が小さい

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| ●音量が最小になっている。 | ●音量を適度に上げてください。 |
| ●アッテネーターがオンになっている。 | ●アッテネーターをオフにしてください。(14ページ) |
| ●フェダー、バランスが片方に寄っている。 | ●フェダーやバランスを正しく調整してください。(46ページ) |
| ●「ファンクションセット」の“内蔵AMP MUTE”/“AMP MUTE”項目が“On”に設定されている。 | ●「ファンクションセット」の“内蔵AMP MUTE”/“AMP MUTE”項目を“Off”に設定してください。(51/53/55ページ) |

## 操作スイッチを押しても動作しない

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| ●操作パネルがスライドしている。 | ●操作パネルを閉じてください。 |
| ●内蔵のマイコンが誤動作している。 | ●リセットボタンを押してください。(10ページ) |

## 音質が悪い(音がひずむ)

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| ●音量が大きすぎる。 | ●音量を適正に調整してください。 |
| ●スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。 | ●スピーカーの配線を確認してください。 |
| ●スピーカーの配線が間違っている。 | ●スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。 |

## チューナーの感度が悪い

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| ●自動車のアンテナが伸びていない。 | ●アンテナを十分に伸ばしてください。 |
| ●アンテナコントロール電源が接続されていない。 | ●取付説明書を参照して正しく接続し直してください。 |
| ●アンテナ入力がきちんと接続されていない。 | ●アンテナ入力を確実に接続してください。 |

## SRCボタンを押しても、Changer/CHに切り替わらない

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| ●それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。 | ●接続されていないソースには切り替わりません。取付説明書を参照して正しく接続してください。 |
| ●別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。 | ●リセットボタンを押してください。(10ページ) |
| ●別売品ユニットのO-NスイッチをO側にしている。 | ●O-NスイッチはN側に設定してください。 |
| ●本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。 | ●対応モデルのディスクチェンジャーをお使いください。(8ページ) |

## MD/CD/External Disc Control Mode

### SRCボタンを押してもディスク（MD/CD）に切り替わらない

| 原因 | 処置 |
| --- | --- |
| ディスクが入っていない。 | プレイするディスクを入れてください。 |

### ディスク（MD/CD）が入らない

| 原因 | 処置 |
| --- | --- |
| すでにディスクが入っている。 | 入っているディスクを取り出してから入れてください。 |

### MDが引き込まれない

| 原因 | 処置 |
| --- | --- |
| MDを入れる方向が間違っている、または裏返しになっている。 | 正しい方向で入れてください。 |

### ディスク（MD/CD）のプレイ中に振動で音飛びする

| 原因 | 処置 |
| --- | --- |
| ●取り付け角度が30°を超えている。 | ●30°以下になるように取り付けしなおしてください。 |
| ●取り付けが不安定になっている。 | ●しっかりと取り付け直してください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。 |
| ●CDが異常に汚れている。 | ●「CDのお手入れ」を参照して、CDをクリーニングしてください。（12ページ） |

### CDをプレイできない

| 原因 | 処置 |
| --- | --- |
| ●CDが裏返しである。 | ●レーベル面を上にして入れ直してください。 |
| ●CDが異常に汚れている。 | ●「CDのお手入れ」を参照して、CDをクリーニングしてください。（12ページ） |
| ●結露している。 | ●しばらく放置してから使用してください。（11ページ） |
| ●CDが内部的に検出されていない。 | ●リセットボタンを押してCDを取り出してから、再度CDを挿入してください。 |

### 選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

| 原因 | 処置 |
| --- | --- |
| ランダムプレイがオンになっている。 | ランダムプレイをオフにしてください。（18/21/58ページ） |

### 同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

| 原因 | 処置 |
| --- | --- |
| リピートプレイがオンになっている。 | リピートプレイをオフにしてください。（18/21/58ページ） |

### 曲の先頭しかプレイされない

| 原因 | 処置 |
| --- | --- |
| トラックスキャンプレイがオンになっている。 | トラックスキャンプレイをオフにしてください。（19/59ページ） |

### チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

| 原因 | 処置 |
| --- | --- |
| ディスクリピートプレイがオンになっている。 | ディスクリピートプレイをオフにしてください。（58ページ） |

## MD/CD/External Disc Control Mode

### 曲が順にプレイされない

ランダムプレイがオンになっている。
→ ランダムプレイをオフにしてください。（18/21/58ページ）

### ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。
→ マガジンランダムプレイをオフにしてください。（59ページ）

### CDがイジェクトできない

ディスクがイジェクト途中で止まっている。
→ CD EJECTボタンをCDがイジェクトするまで押し続けてください。

### 文字がスクロールされない

ディスクネームを表示しているため。
→ スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトルとディスク/トラックテキストです。

### ALL OFFモードにするとCDが１曲目の演奏に戻る（DPX-9021MPi/8021Miのみ）

「ファンクションセット」のCD漢字優先表示項目を変更した。
→ CD漢字優先表示の設定を行うと１曲目の演奏に戻ります。（51/53ページ）

### ディスクサーチ/マガジンランダムプレイができない

ディスクが１枚しか入っていない。
→ ディスクを２枚以上挿入してください。

### リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない

ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。
→ 各機能をボタン操作でオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

### トラックサーチできない

ディスクチェンジャー内のディスクをプレイ時に、最初のトラックで前の曲へ、最後のトラックで先の曲へトラックサーチしようとしている。
→ ディスクリピート中などを除き、最初のトラックから最後のトラックへ、最後のトラックから最初のトラックへはトラックサーチできません。

### ディスクを取り出せない

車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過したため。
→ ACCスイッチをオフにしてから本機内のディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

### タイトル/テキスト表示に切り替えても“No Title”/“No Text”と表示される

ディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキストが記録されていない。
→ ディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキストが記録されたディスクをプレイしてください。

## CD-R、CD-RWがプレイできない

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| ●ファイナライズ処理を行っていない。 | ●CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。 |
| ●CD-R/CD-RWに未対応のCDチェンジャーでプレイしている。 | ●CD-R/CD-RW対応のCDチェンジャーでプレイしてください。 |

### MP3 Mode（DPX-9021MPiのみ）

## MP3ファイルがプレイできない

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| ●ISO9660 level 1/level 2、JolietまたはRomeoに準拠して記録されていない。 | ●ISO9660 level 1/level 2、JolietまたはRomeo（81ページ）に準拠したディスクを使用してください。 |
| ●MP3ファイルに拡張子が付いてない。 | ●MP3ファイルに拡張子“.MP3”を付けてください。 |
| ●ディスクに傷や汚れがある。 | ●「CDのお手入れ」（12ページ）を見て、ディスクをクリーニングしてください。 |

## MP3ファイルをプレイ中に音飛びする

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| ディスクに傷や汚れがある。 | 「CDのお手入れ」（12ページ）を見て、ディスクをクリーニングしてください。 |

## MP3ディスクをプレイ時に雑音が入る/音が出なくなる

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| MP3ファイル以外にMP3の拡張子が付いている。 | MP3ファイル以外に“.MP3”拡張子は付けないでください。 |

## フォルダネーム/ファイルネームが正しく表示されない

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| ●ISO9660 level 1/level 2、JolietまたはRomeoに準拠して記録されていない。 | ●ISO9660 level 1/level 2、JolietまたはRomeo（81ページ）に準拠したディスクを使用してください。 |
| ●ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。 | ●ライティングソフトの取扱説明書を参照して使用できる文字で記録してください。 |

## 演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| MP3ファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。 | — |

## MP3ディスクをプレイするまで時間がかかる

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。 | 最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているディスクを使用すると、プレイされるまで長時間かかる場合があります。 |

## 文字がスクロールされない

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| 演奏時間を表示しているため。 | スクロール表示されるのはファイル/フォルダネームとID3 tag情報です。 |

### MP3 Mode（DPX-9021MPiのみ）

#### MP3ファイルが順番どおりにプレイされない

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| プレイさせたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかったため。 | ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に“00”～“99”などと入力してから書き込むことで順番を設定できる場合もあります。 |

#### 選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| ランダムプレイがオンになっている。 | ランダムプレイをオフにしてください。(21ページ) |

#### 同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| ファイルリピートプレイがオンになっている。 | ファイルリピートプレイをオフにしてください。(21ページ) |

#### ID3 tag情報が表示されない

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| 「ファンクションセット」の“ID3 Tag表示”項目が“Off”に設定されている。 | 「ファンクションセット」の“ID3 Tag表示”項目を“On”に設定してください。(51ページ) |

#### ID3 tag情報が正しく表示されない

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| ID3 tag v1.0/1.1に準拠して記録されていない。 | ID3 tag v1.0/1.1に準拠して記録してください。 |

### Name Set Mode

#### DNPSができない

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| ●MDをプレイしている。<br>●マガジンランダムプレイがオンになっている。<br>●MP3 ファイルをプレイしている。 | ●MDにはDNPSできません。<br>●マガジンランダムプレイをオフにしてください。(59ページ)<br>●MP3が収録されたメディアにDNPSはできません。 |

#### SNPS、DNPS表示にしても“No Name”と表示される

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| ●ステーションネーム、ディスクネームが登録されていない。<br>●「ファンクションセット」の“優先表示”を“Off”に設定したため。(DPX-9021MPi/ 8021Mi) | ●ステーションネーム、ディスクネームを登録してください。(26ページ)<br>●“優先表示”を“On”に設定するか（51/53ページ)、ステーションネーム/ディスクネームを登録してください。(26ページ) |

#### 登録したはずのステーションネームが消えた

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| ●31局目のステーションネームを登録した。<br>●本機をバッテリーから外したため。 | ●登録できるステーションネームは30局分です。<br>●本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。 |

## 登録したはずのディスクネームが消えた

- 101枚目/ 51枚目のディスクネームを登録した。
- 本機をバッテリーから外したため。

- 登録できるディスクネームは本機のCDプレーヤーとCDチェンジャーを合わせて100枚分(DPX-9021MPi/ 8021Mi)/ 50枚分(DPX-6021M)です。
- 本機をバッテリーから外すとディスクネームは消去されます。

## “No Disc”と表示される

マガジンにディスクが入っていない。

ディスクを入れてください。

## ディスクネームがまちがって表示される

総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。

識別する方法はありません。

# FM Multi Control（DPX-9021MPi/8021Miのみ）

## 文字情報が表示できない

- 受信中の放送局がFM文字多重放送局ではない。
- 文字多重放送の休止中。
- 放送局の受信状態が悪い。
- 空白のページを表示中のため。

- ほかの放送局を受信してください。
- 表示するページを替えてください。

## 文字がスクロール表示されない

- 「ファンクションセット」の“スクロールタイム”が４秒または５秒に設定されているため。
- 「FM文字情報オートスクロール」がオフになっている。(DPX-8021Miのみ)

- スクロールするタイミングとFM多重情報が更新されるタイミングとが重なるとスクロール表示できないことがあります。
- 「FM文字情報オートスクロール」をオンに設定してください。（31ページ）

## オートチューニングして放送局を受信しても情報を表示できない

FM多重放送局以外を受信した。

オートチューニングはFM多重放送局だけを探す機能ではないためFM多重放送局以外も受信します。再度オートチューニングを行い、ほかの放送局を受信してください。

## FM多重システムの操作しかできない/オーディオソースの操作ができない

FM多重システムがオンになっている。

Mボタンを押してFM多重継続受信機能をオンにするか、Mボタンを１秒以上押してFM多重システムをオフにしてください。（30/31ページ）

## FM Multi Control（DPX-9021MPi/8021Miのみ）

### 最初の番組画面に戻る/ピープ音が２回鳴り番組が選べない

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| ●停車中に、走行中は表示できない番組を選択してから走行を開始した。<br>●走行中に表示できない番組を選択した。 | 走行中は安全のため、以下のような番組は表示されないようになっています。<br>●ニュース番組<br>●一般情報番組<br>●主な補完番組<br>その他、情報量が多い番組は表示されません。 |

## Display/DSP/Equalizer Control

### DSP効果が得られない

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| ● ２スピーカーシステムになっている。 | ● ４スピーカーシステムにしてください。 |
| ●フロントスピーカーとリアスピーカー、あるいは右スピーカーと左スピーカーが逆に接続されている。<br>●スピーカーの極性が逆に接続されている。 | ●取付説明書を参照して正しく接続し直してください。 |
| ●フェダーまたはバランスの調整が片側に片寄っている。 | ●「オーディオコントロール」（46ページ）を参照して、フェダーやバランスを中央に調整してください。 |

### レベル/ニュアンス、DSPバスブーストが調整できない

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| ホールシミュレーション設定が“Bypass”に設定されている。 | ホールシミュレーション設定を“Bypass”以外に設定してください。（38ページ） |

### ルームサイズの調整ができない

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| ポジションが“ALL”に設定されている。 | ポジションを“ALL”以外に設定してください。（38ページ） |

### イコライザーを調整しても効果が現れない

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| １つの周波数だけを調整している。 | 調整した周波数の周囲の周波数も調整してください。 |

### アナライザーの切り替えができない

| 原因 | 対処 |
|---|---|
| ALL OFFモードになっている。 | SRCボタンを押して、オーディオソースに切り替えてからアナライザーの切り替えをしてください。 |

## Audio Control

### オーディオコントロールのノンフェダークロスオーバーモードが設定できない

| 原因 | 対処 |
| --- | --- |
| 「ファンクションセット」の“PREOUT”/“Preout”項目が“Rear”に設定されている。 | 「ファンクションセット」の“PREOUT”/“Preout”項目を“N-F”に設定してください。（51/53/55ページ） |

## Function Set Mode

### 文字輝度調整項目が表示されない（DPX-8021Miのみ）

| 原因 | 対処 |
| --- | --- |
| ●車両のライトスイッチがオフになっている。<br>●イルミネーションコードが接続されていない。 | ●車両のライトスイッチをオンにしたのち、再度ファンクションセットモードでオンにしてください。<br>●取付説明書を参照して正しく接続し直してください。 |

### オートスクロール/ Title/Text SCRL/ AT.SCRL項目が表示されない

| 原因 | 対処 |
| --- | --- |
| ●使用しているディスクチャンジャーに“O-N”スイッチがない。<br>●使用しているディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“O”にしている。 | ●“O-N”スイッチがあるディスクチェンジャーを使用してください。<br>●ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“N”にしてください。 |

### FM多重モード中の設定項目しか表示されない（DPX-9021MPi/8021Miのみ）

| 原因 | 対処 |
| --- | --- |
| FM多重システムがオンになっているため。 | 「FM多重システム」（30ページ）を参照してFM多重システムをオフにしてください。 |

### コード書き込み準備/CODE STBY項目が表示されない

| 原因 | 対処 |
| --- | --- |
| すでにセキュリティコードを設定してある。 | セキュリティコードを一度設定すると変更はできません。このため、ファンクションセット項目から削除されます。 |

### セキュリティコードを忘れた

| 原因 | 対処 |
| --- | --- |
| セキュリティコードを調べることはできません。 | ケンウッドサービスセンターにご相談ください。 |

## Telephone Control/Hands-free call Control（DPX-9021MPi/8021Miのみ）

### ハンズフリー機能が正しく動作しない

| 原因 | 処置 |
| --- | --- |
| 「ファンクションセット」の“TELコネクタ”項目が正しく設定されていない。 | CA-HF100またはCA-HF200を使用しているときは“BUS”に設定し、CA-HF300を使用しているときは“Miniplug”に設定してください。（51/53ページ） |

## Telephone Control（DPX-9021MPi/8021Miのみ）

### テレフォンモードにできない（インジケーターが点灯しない/点滅する）

| 原因 | 処置 |
| --- | --- |
| ●携帯電話が接続されていない。<br>（インジケーターが点灯しない）<br><br>●携帯電話からメモリーダイヤルを読み込んでいない。<br>●メモリーダイヤルを消去した。<br>●携帯電話に電話番号がメモリーされていなかった。<br>（インジケーターが点滅する） | ●携帯電話の電源をオフ、本機の電源をオンにして、別売品のCA-HF100/CA-HF200に携帯電話がロックするまで差し込んでください。<br>●「携帯電話メモリー読み込み」（64ページ）を参照して、携帯電話のメモリーダイヤルを本機に読み込んでください。 |

### 携帯電話のメモリーダイヤルが読み込めない

| 原因 | 処置 |
| --- | --- |
| 携帯電話が正しく接続されていない。 | 一旦､携帯電話をCA-HF100/CA-HF200から取り外してから、携帯電話の電源をオフ、本機の電源をオンにして、CA-HF100/ CA-HF200にロックするまで差し込んでください。 |

# Help ? MP3 （DPX-9021MPiのみ）

**DPX-9021MPiは、MP3ファイルをプレイすることができますが、使用できるMP3ファイルを記録したメディアやフォーマットには制限があります。MP3ファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。**

## 使用できるメディア

使用できるMP3を収録するメディアはCD-ROM、CD-R、およびCD-RWです。

## 使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。フォーマット名の後ろの文字数は、ファイル名に付けられる最大文字数（区切り文字“.”と拡張子３文字を含む）で、１byte文字を使用した場合の文字数です。

- **ISO 9660 Level 1：12文字**
- **ISO 9660 Level 2：31文字**
- **Joliet：64文字（ただし、本機で表示されるのは12文字形式（8.3形式）です）**
- **Romeo：128文字**

なお、**ロングファイル名**形式で書き込んだ場合は、200文字まで表示が可能です。
使用できる文字はライティングソフトの説明書および下記「ファイル名とフォルダ名の入力」を参照してください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- **最大ディレクトリ階層：８階層**
- **１階層における最大ファイル/フォルダ数：253（ファイル数＋フォルダ数）**

上記のフォーマット以外で書き込まれたMP3ファイルは、正常にプレイされなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

## 圧縮ソフトとライティングソフトの設定

MP3ファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は“128kbps”の“固定”を推奨します。
また、最大容量まで記録する場合は、追記禁止の設定をしてください。
何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、“Disc at Once”の設定をしてください。

## ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数字、カナ文字または日本語 (シフトJIS) で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。また、ライティングソフトや使用するディスクのフォーマットによって表示できる文字が制限されます。詳しくはライティングソフトの説明書をご覧ください。
また、MP3ファイルと認識されてプレイされるファイルはMP3の拡張子（.MP3）が付いたものだけです。MP3ファイルには、MP3の拡張子を付けて保存してください。

**禁 止**

MP3ファイル以外のファイルに、MP3の拡張子を付けると、MP3ファイルと誤認識して再生をしてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。MP3ファイル以外のファイルに、MP3の拡張子を付けないようにしてください。

## ID3 Tagについて

本機で表示できるID3 TagはID3 Tag v1.0/1.1規格で記録されたタイトル、アーティスト、およびアルバム名です。
また、本機で表示できる文字種は英数文字、カタカナ、日本語 (シフトJIS) です。
なお、ID 3 tag v1.1/1.0規格には以下の制限があります。

- タイトル：30 byte以下
- アーティスト：30 byte以下
- アルバム名：30 byte以下

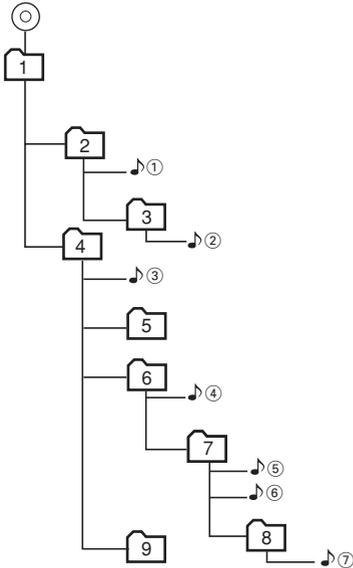
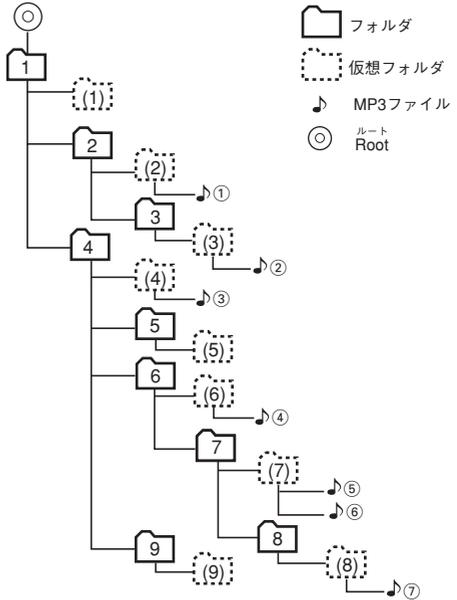
## メディアに書き込むファイルについて

MP3が収録されているメディアを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。
このため、プレイするメディアに多くのフォルダやMP3以外のファイルを書き込むと、プレイするまで長時間必要になります。また、次のMP3ファイルのプレイに移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。
使用するメディアには、MP3ファイル以外のファイルや必要ないフォルダなどを書き込まないようにしてください。

# （DPX-9021MPiのみ）

## MP3ファイルをプレイする順番

プレイ、フォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトでファイルやフォルダが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、プレイされると予想していた順番と実際にプレイされる順番が一致しないことがあります。
ライティングソフトにもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭にプレイする順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、プレイする順番を設定できることがあります。

以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は次のようになります。

## ♪④ 再生中にファイルサーチを行うと・・・・

| ボタン操作 / 現在のファイルNo. | ⏮ | ⏭ |
|---|---|---|
| ♪④ | ♪④の先頭→♪③→♪②→♪①→♪⑦… | ♪⑤→♪⑥→♪⑦→♪①… |

## ♪④ 再生中にフォルダサーチを行うと・・・・

♪④ を再生中にフォルダサーチをすると、最初は 6 から始まり、次のようにフォルダを選びます。

| ボタン操作 / 現在のフォルダNo. | −AM | FM+ |
|---|---|---|
| 6 | 5→4→3→2→1→9… | 7→8→9→1… |

## ♪③ 再生中にフォルダセレクトを選択し、フォルダの移動を行うと・・・・

フォルダセレクト中は前ページのように、各フォルダの１階層下に仮想フォルダを設けます。各フォルダに記録してあるMP3ファイルはこの仮想フォルダに収録されているような階層表示となります。♪③ を再生中にフォルダセレクトモードにすると、最初は (4)（4 の仮想フォルダ）から始まり、次のようにフォルダを選びます。

仮想フォルダのフォルダネームは、本来のフォルダネームに“()”を付けて表示します。例えば、“4”というフォルダネームであれば“(4)”と表示します。また、仮想フォルダのフォルダネーム表示は30文字までとなります。

| ボタン操作 / 現在のフォルダNo. | ⏮ | ⏭ | −AM | FM+ |
|---|---|---|---|---|
| (4) | 9→6→5→(4)… | 5→6→9… | 4→1 | — |

仮想フォルダ内では下に階層がないため FM+ の操作はできません。

このため、上記の例のようにフォルダセレクトモードになった直後は (4) の下に階層がないため FM+ の操作はできません。
フォルダセレクト機能により 1 などへ移動したときに、FM+ の操作で 1→(1) と１階層下のフォルダを選ぶことができます。

Help

## AFサーチ
**（エーエフサーチ）**
FM多重情報として送られてくる代替放送局の周波数情報から、一番受信状態の良い放送局を自動的に選び出して受信する機能です。
代替放送局とは、同じ放送局系列（ネットワーク）で同一のプログラムをオンエアしている放送局です。

## AUX
**（エーユーエックス）**
テレビなどの外部機器の出力を入力する機能です。
AUX端子から入力された音は、AUXソースに切り替えることにより、本システムを使って聴くことができます。
また、ファンクションセットで、ソース選択時にAUXソースに切り替わらないように設定もできます。AUX入力を使用していないときは、この“AUX IN” / “AUX”項目を“Off”に設定しておけば、AUXソースに切り替わらないので、スムーズなソース切り替えができます。

## Amp CTRL/Amp Cont
**（アンプコントロール）**
EXT.CONT.コードで接続したB.M.S機能が搭載された別売品のパワーアンプの、低音域の増幅量をこの機能でコントロールできます。（B.M.S機能: Bass Management System）
変更される値や変更時のアンプ側の動作はアンプにより異なります。詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。
B.M.S機能搭載アンプ（2001年３月31日現在）
：KAC-PS501F, KAC-PS301T, KAC-PS201T

## CD漢字優先表示/MD漢字優先表示
CDテキストやMDタイトルなどが漢字で記録されているディスクを聴いているときに、これらを漢字で表示（Onに設定）するか、漢字をカタカナ、ローマ字に変換して表示（Offに設定）するかの設定ができます。

## DSP (Digital Signal Processor)
**（ディエスピィ：デジタルシグナルプロセッサー）**
音楽信号をデジタル処理することにより、反射音や残響音などの音響効果を作り出し、擬似的にコンサートホールなどの音場空間を作る機能です。

## FMダイバーシティ
２本のFMアンテナから一番受信状態の良いアンテナを瞬時に選び出し、自動的に常に受信状態の良いアンテナに切り替えるシステムです。
車両側で２本のアンテナに対応されている場合もありますが、別売品の汎用ダイバシティ変換プラグ“CA-83U”などを使用すると、このFMダイバーシティシステムを未対応車でも活用することができます。詳しくはカタログなどをご覧ください。

## FM多重継続受信
この機能をオンにすると、表示・操作がFM多重システムからオーディオになりますが、FM文字多重のデータの受信・蓄積は続けます。このため、情報が必要なときすぐに見ることができます。

## FM文字多重放送
FM電波のすき間を使用して、文字情報データを送信する放送システムです。
FM多重システムをオンにすると、この放送システムで送られてくる文字情報を見ることができます。

## FM多重表示継続
通常FM多重放送の文字情報を表示中は、オーディオの操作はできませんが、この機能を“許可”にしておくと、FM多重継続受信モードで、オーディオの操作にしても文字情報の表示を継続することができます。

## HPF Slope
**（ハイパスフィルタースロープ設定）**
HPF-Front/HPF-Rear/HPF-F/HPF-Rで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。
１オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。
スピーカーに応じたスロープ設定により、特に超低域をカットすることにより、音にならない不要な振動を抑制できます。

## HPF-Front/HPF-Rear HPF-F/HPF-R
**（フロントハイパスフィルター/リアハイパスフィルター）**
サブウファーを追加するとき、この機能を使って高・中音用のスピーカーから低音を削除することができます。
設定した周波数より低い音域をカットします。
“Through” / “Off”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

## LPF
**（ローパスフィルター）**
ノンフェダー出力から高音を削除することができます。ノンフェダー出力をサブウーファー用として使用するときに、この機能で低域のみの音にすることができます。
設定した周波数より高い音域をカットします。これにより効率の良い低域再生が可能となります。“Through”/“Off”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

## LPF Slope
**（ローパスフィルタースロープ設定）**
LPFで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。
１オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。

## MDLP
MDの記録方式の規格です。
本機ではMDLP2モードとMDLP4モードで録音されたMDをプレイできます。

## MONO/Mono
**（モノラル）**
この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。
受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなるときがあります。

## MP3
**（エムピイスリー）**
正式名「MPEG1 Audio Layer 3」の略称です。
MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。
DPX-9021MPiにMP3が収録されたメディアを入れることにより聴くことができます。
使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? MP3」（81ページ）をご覧ください。

## MP3 ID3 Tag
**（エムピイスリーアイディスリータグ）**
MP3ファイルの情報データです。曲のタイトルやアーティスト名、収録アルバム名などが記録されています。
DPX-9021MPiでは「ファンクションセット」（51ページ）の“ID3 Tag表示”項目を“On”に設定すると、タイトル、アーティスト、およびアルバムネームの情報を表示することができます。詳しくは「Help? MP3」（81ページ）をご覧ください。

## PREOUT/Preout
**（プリアウト）**
別売品のパワーアンプを接続するための出力です。
リアプリアウトを、オーディオコントロールのフェダー調整に影響されない出力（ノンフェダー出力“N-F”）に切り替えることができます。フェダー調整に影響されないのでサブウーファー用の出力に活用できます。

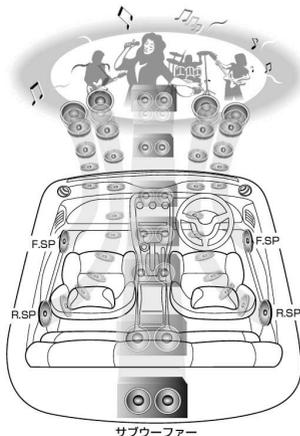
## SEEK MODE/SEEK/Seek
**（チューニングモード）**
放送局の探しかたを設定することができます。
AUTO 1：放送局を自動的に見つけ出します。
AUTO 2：メモリーされている放送局を順番に受信します。
Manual：１ステップずつ周波数が変わります。

## TELコネクタ
**（テレフォンコネクタ）**
DPX-9021MPi/8021Mi に携帯電話を接続してハンズフリー機能を使うときに、その接続方式に合わせた設定をします。
BUS：別売品CA-HF100またはCA-HF200を使用して携帯電話を接続している場合
Miniplug：別売品CA-HF300を使用して携帯電話を接続している場合
上記の設定によって使用できる機能や「ファンクションセット」で設定できる項目が変わります。
なお、上記の設定が正しく行われていないと、ハンズフリー機能は正しく動作しません。

## Time Delay Front/Time Delay Rear/Time Delay NF
## T-DLY F/T-DLY R/T-DLY NF
**(フロントタイムディレイコントロール/
リアタイムディレイコントロール/
ノンフェダータイムディレイコントロール)**

フロント、リア、ノンフェダーから出力される音を遅延させることにより、スピーカーの位置を擬似的にずらすことができる機能です。それぞれ細かい設定が可能なため、車種やスピーカー取り付け位置にとらわれずに最適な効果が得られます。

Time Delay Front/T-DLY Fの設定値（msec.）を上げていくと、音像が前方奥に引き込み、広がり感が得られます。

Time Delay Rear/T-DLY RやTime Delay NF/T-DLY NFの設定値（msec.）を上げていくと、前方定位（ばらけていた音が前方でまとまり、目の前で鳴っているような感覚）や低音感増強、臨場感の向上などの効果が得られ、リアスピーカー/サブウーファーの音集性が向上します。

## オートスクロール/ Title/Text SCRL/ AT.SCRL
**（オートスクロール）**

ディスクタイトルやCDテキストが長いためディスプレイ部分では表示しきれないときはスクロールして表示されます。

この機能を“On”に設定しておくと、このスクロール表示を繰り返し行い、“Off”に設定しておくと表示が変わったときだけ１回スクロール表示するようにできます。設定はCDプレイ時とMDプレイ時とで別々に設定できます。

## オープニング画面表示
電源をオンにしたときの、デモンストレーション表示の有無を設定できます。

## 自動時刻補正
放送局の中には時刻情報をFM多重で送信している局があります。この時刻情報を利用して、DPX-9021MPi/8021Mi内蔵の時計を常に補正する機能です。

## セキュリティコード
セキュリティコードを設定しておくと、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

## ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー（KDC-C510など）、MDチェンジャー（KMD-C30, RJ-480など）です。

## 内蔵AMP MUTE/AMP MUTE
**（アンプ・ミュート）**

フロントスピーカー、リアスピーカーともプリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるようなときは、この機能を“On”に設定することにより、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。
内蔵アンプの稼働を停止させると、プリアウトからの音声出力のクォリティーをアップさせることができます。

## ビープ/BEEP

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。押してすぐ離したときには“ピッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押して機能をオンにしたときには“ピッピッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“Off”に設定することにより消すことができます。

## 文字輝度調整

車両のライトスイッチをオンにしたときのDPX-8021Miのディスプレイの明るさを設定しておくことができる機能です。

## 優先表示

TUNER Mode中にディスプレイ表示を“SNPS”にしているとき、この機能で“SNPSで登録した名前”または“FM多重情報で送られてくる放送局名”とに切り替えることができます。
“On”に設定すると“FM多重情報で送られてくる放送局名”、“Off”に設定すると“SNPSで登録した名前”を表示します。

## 無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

**Error 04**　：●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクに傷が多く付いている。
●ディスクが入っていない。
●トレイが入っていない。
●ナビゲーション用CD-ROMなど本機に対応していないディスクを使用している。
➡ほかのディスクを使用してください。

**Error 12**　：演奏しようとしたMDがデータ用MDです。
➡データ用MDを取り出して、音楽用MDを入れてください。

**EJECT**　：●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など

**No Disc**　：ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。

**No Name**　：●ステーションネームプリセットされていない放送局を受信中に、放送局名表示にしようとした。
●ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。
●ID3 tagが記録されていないディスクを演奏中に、ID3 tag表示にしようとした。(DPX-9021MPi)

**No Title**　：タイトルが記録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。

**No Text**　：CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。

**No Track**　：演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
➡ほかのディスクを使用してください。

**Blank Disc**　：演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
➡ほかのディスクを使用してください。

**（点滅）/ 電話メモリされていません（DPX-9021MPi/8021Mi）**
：本機に電話番号がメモリーされていない。
➡「携帯電話メモリー読み込み」（64ページ）を参照して、携帯電話のメモリーダイヤルを本機に読み込んでください。

**パネルを閉めてください（DPX-9021MPi/8021Mi） / Please Close（DPX-6021M）**
：操作パネルを開いているときに、操作できないボタンを押した。
➡パネルを閉めてから操作してください。

## システムの異常を以下のように表示してお知らせします。

**Error 77** ：何らかの原因で正常に動作していない。
➡本機のリセットボタンを押してください。"Error 77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

**H-HOLD** ：本機のMDプレーヤーやディスクチェンジャーの内部温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
➡本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。

**Mecha Error** ：●ディスクマガジンに異常がある。
➡ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
➡イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

**（点滅）**
：CDプレーヤーが正常に動作していない。
➡CDを取り出してから、CDを入れなおしてください。

**（点滅）**
：MDプレーヤーが正常に動作していない。
➡MDを取り出してから、MDを入れなおしてください。

## FM多重放送の受信状態を以下のように表示します。（DPX-9021MPi/8021Mi）

**データを集めています** ：文字情報を蓄積中です。
➡この表示のままFM文字情報表示に切り替わらないときは、FM文字多重放送局からメニューデータが発信されていない場合があります。ほかの放送局を受信してみてください。

**しばらくお待ち下さい** ：FM文字多重放送局か確認中です。

**受信できません** ：FM文字多重放送局ではない。
受信状態が悪いため文字情報を受信できない。

**本番組は走行中表示できません**
：走行中に表示できない番組（ニュース番組や一般情報番組など）を選択した。
➡停車後、パーキングブレーキをかけてから再度その番組を選択してください。

必ずお読みください

# 保証とアフターサービス

## 保証について

### ●保証書
この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### ●保証期間
お買上げの日より **1 年**です。

## 修理を依頼されるときは
「Help ? Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

**修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。**

### ● 保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

### ● 保証期間経過後は…
お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

### ● 持込修理
この製品は持込修理とさせて頂きます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
  （本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

### ● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- **技術料：**故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
  技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- **部品代：**修理に使用した部品代です。
  その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

# 仕様一覧

## FMチューナー部

| | |
|---|---|
| 受信周波数範囲（周波数ステップ） | 76.0 MHz～90.0 MHz (100 kHz) |
| 実用感度（S/N:30 dB） | 9.3 dBf (0.8 μV/75 Ω) |
| S/N 50 dB感度 | 15.2 dBf (1.6 μV/75 Ω) |
| 周波数特性（±3.0 dB） | 30 Hz～15 kHz |
| S/N比 | 75 dB (MONO) |
| 選択度（±400 kHz） | 80 dB以上 |
| ステレオセパレーション | 40 dB (1 kHz) |

## AMチューナー部

| | |
|---|---|
| 受信周波数範囲（周波数ステップ） | 522 kHz～1629 kHz (9 kHz) |
| 感度 | 28 dBμ |

## MDプレーヤー部

| | |
|---|---|
| レーザー | GaAIAs(ダブルヘテロダイオード, λ=780 nm) |
| 回転数 | 400～900 rpm（線速度一定） |
| ワウ & フラッター | 測定限界以下 |
| 周波数特性 | 20 Hz～20 kHz (±1 dB) |
| 高調波歪率 | 0.005 % (1 kHz) |
| S/N比 | 93 dB (1 kHz) |
| ダイナミックレンジ | 93 dB |
| ステレオセパレーション | 85 dB |

## CDプレーヤー部

| | |
|---|---|
| レーザー | GaAIAs(ダブルヘテロダイオード, λ=780 nm) |
| 回転数 | 500～200 rpm（線速度一定） |
| ワウ & フラッター | 測定限界以下 |
| 周波数特性 | 10 Hz～20 kHz (±1 dB) |
| 高調波歪率 | 0.01 % (1 kHz) |
| S/N比 | 95 dB (1 kHz) |
| ダイナミックレンジ | 95 dB |
| ステレオセパレーション | 88 dB |
| MP3デコーダ（DPX-9021MPiのみ） | MPEG-1.0 Audio Layer-3準拠 |

## オーディオ部

| | |
|---|---|
| 最大出力（DPX-9021MPi/8021Mi） | 50 W × 4 |
| （DPX-6021M） | 47 W × 4 |
| 定格出力（DPX-9021MPi/8021Mi） | 30 W × 4 (4 Ω, 1kHz, 10%THD) |
| （DPX-6021M） | 29 W × 4 (4 Ω, 1kHz, 10%THD) |
| プリアウトレベル(FM) | 1.5 V/10 kΩ |
| プリアウトインピーダンス | 600 Ω 以下 |

## DSP/イコライザー部

| | |
|---|---|
| A/Dコンバーター＆D/Aコンバーター | 3次⊿Σ方式20bit128倍オーバーサンプリング |
| イコライザー中心周波数 | 60/120/250/500/1k/2k/4k/8k/16k Hz |
| 可変範囲 | ±12 dB（± 6 STEP） |

## 電源部

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | 14.4 V (11～16 V) |
| 最大消費電流 | 10 A |

## 寸法・質量

| | |
|---|---|
| 埋込寸法（W × H × D） | 178 × 100 × 155 mm |
| 質量（重さ） | 3.3 kg |

## 付属部品

| | |
|---|---|
| 電源ハーネス | 1本 |
| トラスネジ（M5 × 6mm） | 6本 |
| サラネジ（M5 × 7mm） | 6本 |
| セムスネジ（M4 × 8mm） | 1本 |
| リモコン（DPX-9021MPi/8021Miのみ） | 1個 |
| 電池（単 4 型）（DPX-9021MPi/8021Miのみ） | 2本 |
| パーキングセンサー中継コード（DPX-9021MPi/8021Miのみ） | 1本 |
| 中継コネクター（DPX-9021MPi/8021Miのみ） | 1個 |

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

---

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒150-8501　東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
  カスタマーサポートセンター（東京）電話(03)3477-5335　FAX(03)3477-5334　〒153-0042　東京都目黒区青葉台3-17-9
  （大阪）電話(06)6394-8085　FAX(06)6394-8308　〒532-0034　大阪市淀川区野中北2-1-22
  受付時間 9:00〜18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。